

サイボウズ リモートサービス 管理者マニュアル

バージョン 3.0.1

目次

■ 基本操作

リモートサービスマネージャーにアクセスする	2
ログインする	2
ログアウトする	3
サポートオンラインに問い合わせる	4
製品の動作環境を確認する	5
操作上の注意	6
製品のアクセス URL の注意点について	6
製品へのアクセスに必要な URL パスについて	6
「利用ユーザーの設定」画面の見かた	7
リモートサービスのアクセス情報	8
KUNAI Lite for BlackBerry(R)の「利用端末の管理」画面の見かた	8
「利用端末の管理」画面の見かた	10

■ パソコンからのアクセス 12

利用製品を管理する	13
サイボウズ製品の場合	13
サイボウズ製品を追加する	13
サイボウズ製品を更新する	14
サイボウズ製品を削除する	14
サードパーティ製品の場合	15
サードパーティ製品を追加する	15
サードパーティ製品を変更する	16
サードパーティ製品を削除する	16
利用ユーザーを管理する	18
利用ユーザーを追加する	18
利用ユーザーを削除する	19
クライアント証明書を管理する	20
証明書を発行する	20
証明書を変更する	21
証明書のステータスを変更する	21
利用する証明書を設定する	21
証明書を削除する	22
アクセス情報をユーザーに連絡する	23
リモートポータルを設定する	25
リモートポータルとは	25
リモートポータルを利用する	25

表示内容を設定する	26
リモートポータル URL をユーザーに連絡する	26
■ 携帯電話からのアクセス	28
利用製品を管理する	29
サイボウズ製品の場合	29
サイボウズ製品を追加する	29
サイボウズ製品を更新する	30
サイボウズ製品を削除する	30
サードパーティ製品の場合	31
サードパーティ製品を追加する	31
サードパーティ製品を変更する	32
サードパーティ製品を削除する	32
利用ユーザーを管理する	34
利用ユーザーを追加する	34
利用ユーザーを削除する	35
クライアント証明書を管理する	36
証明書を発行する	36
証明書を変更する	37
証明書のステータスを変更する	37
利用する証明書を設定する	37
証明書を削除する	38
アクセス情報をユーザーに連絡する	39
■ KUNAI for Windows phone からのアクセス	40
利用製品を管理する	41
利用製品を追加する	41
利用製品を更新する	41
利用製品を削除する	41
利用ユーザーを管理する	43
利用ユーザーを追加する	43
利用ユーザーを削除する	44
KUNAI for Windows phone を管理する	45
KUNAI for Windows phone をインストールする	45
KUNAI for Windows phone の利用を停止する	46
KUNAI for Windows phone をバージョンアップする	46
利用端末を管理する	48
利用端末を追加する	48
利用端末を変更する	49
利用端末を削除する	50

利用端末を初期化する	50
利用ユーザーを切り替える	51
未登録の SIM カードの使用を許可する	51
端末情報を CSV ファイルで管理する	52
端末情報を CSV ファイルから読み込む	52
端末情報を CSV ファイルに書き出す	53
利用端末を制御する	55
セキュリティポリシーとは	55
セキュリティポリシーを追加する	55
セキュリティポリシーを変更する	57
セキュリティポリシーを削除する	57
利用端末のセキュリティポリシーを変更する	58
制御するソフトウェアの設定する	58
■ KUNAI for BlackBerry(R)からのアクセス	60
MDM オプション(Mobile Device Manager オプション)を使用する場合	
利用製品を管理する	62
利用製品を追加する	62
利用製品を更新する	62
利用製品を削除する	62
利用ユーザーを管理する	64
利用ユーザーを追加する	64
利用ユーザーを削除する	65
KUNAI for BlackBerry(R)を管理する	66
KUNAI for BlackBerry(R)をインストールする	66
KUNAI for BlackBerry(R)の利用を停止する	66
利用端末を管理する	68
利用端末を追加する	68
利用端末を変更する	69
利用端末を削除する	69
利用端末を初期化する	70
利用ユーザーを切り替える	71
未登録の SIM カードの使用を許可する	71
端末情報を CSV ファイルで管理する	71
端末情報を CSV ファイルから読み込む	72
端末情報を CSV ファイルに書き出す	72
MDM オプション(Mobile Device Manager オプション)を使用しない場合	
利用製品を管理する	74
利用製品を追加する	74
利用製品を更新する	74

利用製品を削除する	75
利用ユーザーを管理する	76
利用ユーザーを追加する	76
利用ユーザーを削除する	77
クライアント証明書を管理する	78
証明書を発行する	78
証明書を変更する	79
証明書のステータスを変更する	79
利用する証明書を設定する	79
証明書を削除する	80
アクセス情報をユーザーに連絡する	81

■ KUNAI for iPhone からのアクセス 82

MDM オプション(Mobile Device Manager オプション)を使用する場合

利用製品を管理する	84
利用製品を追加する	84
利用製品を更新する	84
利用製品を削除する	84
利用ユーザーを管理する	86
利用ユーザーを追加する	86
利用ユーザーを削除する	87
KUNAI for iPhone を管理する	88
KUNAI for iPhone をインストールする	87
KUNAI for iPhone の利用を停止する	88
利用端末を管理する	90
利用端末を追加する	90
利用端末を変更する	91
利用端末を削除する	91
利用端末を初期化する	92
利用ユーザーを切り替える	92
未登録の SIM カードの使用を許可する	93
端末情報を CSV ファイルで管理する	93
端末情報を CSV ファイルから読み込む	93
端末情報を CSV ファイルに書き出す	94

MDM オプション(Mobile Device Manager オプション)を使用しない場合

利用製品を管理する	95
利用製品を追加する	95
利用製品を更新する	95
利用製品を削除する	96
利用ユーザーを管理する	97

利用ユーザーを追加する	97
利用ユーザーを削除する	98
クライアント証明書を管理する	99
証明書を発行する	99
証明書を変更する	100
証明書のステータスを変更する	100
利用する証明書を設定する	100
証明書を削除する	101
アクセス情報をユーザーに連絡する	102

■ KUNAI for Android からのアクセス 103

MDM オプション(Mobile Device Manager オプション)を使用する場合

利用製品を管理する	105
利用製品を追加する	105
利用製品を更新する	104
利用製品を削除する	105
利用ユーザーを管理する	107
利用ユーザーを追加する	107
利用ユーザーを削除する	108
KUNAI for Android を管理する	109
KUNAI for Android をインストールする	109
KUNAI for Android の利用を停止する	109
利用端末を管理する	111
利用端末を追加する	111
利用端末を変更する	112
利用端末を削除する	112
利用端末を初期化する	113
利用ユーザーを切り替える	113
未登録の SIM カードの使用を許可する	114
端末情報を CSV ファイルで管理する	114
端末情報を CSV ファイルから読み込む	114
端末情報を CSV ファイルに書き出す	115

MDM オプション(Mobile Device Manager オプション)を使用しない場合

利用製品を管理する	116
利用製品を追加する	116
利用製品を更新する	116
利用製品を削除する	117
利用ユーザーを管理する	118
利用ユーザーを追加する	118
利用ユーザーを削除する	119

クライアント証明書を管理する	120
証明書を発行する	120
証明書を変更する	121
証明書のステータスを変更する	121
利用する証明書を設定する	121
証明書を削除する	122
アクセス情報をユーザーに連絡する	123

■ ライセンスの管理

ライセンスを管理する	124
ライセンスを更新する	125
クライアント証明書を差し替えるときの流れ	125
サービスの試用を開始する	127

■ システム全般の設定

KUNAI の使用を制限する	128
システム管理用のパスワードを設定する	129
Web プロキシを設定する	130
表示言語を切り替える	131
ログから得られる情報	132
リモートサービスマネージャーを再起動、停止する	133
リモートサービスマネージャーを再起動する	133
Windows 環境の場合	133
Linux 環境の場合	133
リモートサービスマネージャーを停止する	134
Windows 環境の場合	134
Linux 環境の場合	134

管理者マニュアル

管理者マニュアル 目次

リモートサービスマネージャーを運用するために必要な設定や操作について説明します。

基本操作

- ▶ [リモートサービスマネージャーにアクセスする](#)
- ▶ [サポートオンラインに問い合わせる](#)
- ▶ [製品の動作環境を確認する](#)
- ▶ [操作上の注意](#)

パソコンまたは携帯電話からのアクセス



パソコン



携帯電話

スマートフォンからのアクセス



Windows phone



BlackBerry(R)



iPhone



Android

ライセンスの管理

- ▶ [ライセンスを管理する](#)
- ▶ [サービスの試用を開始する](#)

システム全般の設定

- ▶ [KUNAIの使用を制限する](#)
- ▶ [システム管理用のパスワードを設定する](#)
- ▶ [Webプロキシを設定する](#)
- ▶ [表示言語を切り替える](#)
- ▶ [ログから得られる情報](#)
- ▶ [リモートサービスマネージャーを再起動、停止する](#)

基本操作

リモートサービスマネージャーにアクセスする

リモートサービスマネージャーにアクセスする方法を説明します。

- リモートサービスマネージャーでは、リモートサービスやKUNAIのシステムを管理します。

注意 ● 「システム管理」画面にログイン中にリモートサービスマネージャーを再起動した場合は、もう一度ログインし直してください。

補足 ● リモートサービスマネージャーをインストールして、はじめて「システム管理」画面にアクセスした場合は、「初期設定」画面が表示されます。画面にしたがってシステム管理の初期設定を開始します。

▶ [初期設定を実行する](#)

- ▶ [ログインする](#)
- ▶ [ログアウトする](#)

ログインする

Webブラウザを使用して、リモートサービスマネージャーにログインします。

1 Webブラウザを起動して、リモートサービスマネージャーにアクセスする

リモートサービスマネージャーにアクセスするためには、次のURLにアクセスします。

http:// (サーバーのIPアドレスまたはFQDN) : (リモートサービスマネージャーが使用するポート番号) /remote/login.vm

▶ [FQDNとは](#)

例) サーバーのIPアドレスが「192.168.1.1」、使用するポート番号が「8080」の場合

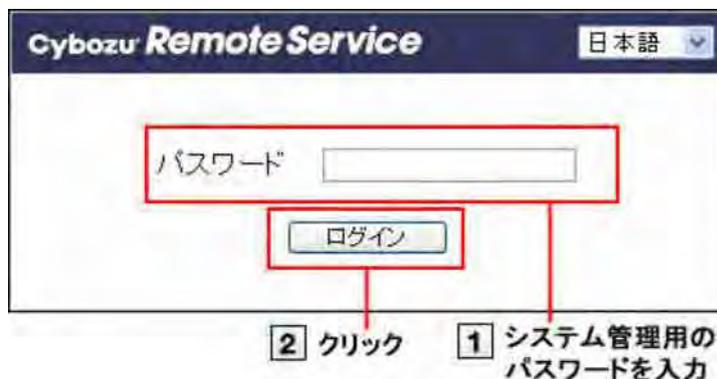
http://192.168.1.1:8080/remote/login.vm

例) FQDNが「bozuman.co.jp」、使用するポート番号が「8080」の場合

http://bozuman.co.jp:8080/remote/login.vm

2 パスワードを入力し、**ログイン** をクリックする

パスワードは、大文字と小文字を区別し、正しく入力します。



3 リモートサービスマネージャーで、各項目を設定する



ヒント

- 「ログイン」画面のメニューで表示言語を選択すると、一時的に「システム管理」画面の表示言語を変更できます。

[▶ 表示言語を切り替える](#)

ログアウトする

作業を終了する場合は、リモートサービスマネージャーからログアウトします。

1 リモートサービスマネージャーで、**ログアウト** をクリックする



補足

- ログアウトしないでWebブラウザを終了すると、次回リモートサービスマネージャーにアクセスするときに「ログイン」画面が表示されます。

基本操作

サポートオンラインに問い合わせる

リモートサービスマネージャーの操作方法がわからないときやトラブルが起きた場合には、オンラインで問い合わせができます。

- 1 リモートサービスマネージャーで、 **サポート** をクリックする
- 2 画面の指示にしたがって、操作する

基本操作

製品の動作環境を確認する

リモートサービスマネージャーの動作環境を画面で確認します。

- 動作環境では、次の項目を確認できます。
 - リモートサービスマネージャーのバージョン
 - リモートサービスマネージャーのインストールディレクトリ
 - インストールしているサーバーのOS
 - Webプロキシの利用状況
 - プロキシサーバー名
 - プロキシサーバーのポート番号
 - リモートID
 - ライセンスの終了日
 - クライアント証明書の有効期限
 - 利用している製品のアクセスURL
 - 利用している製品の利用ユーザー数

1 リモートサービスマネージャーで、**動作環境**をクリックする

2 画面に表示された内容を確認する

基本操作

操作上の注意

- 製品へのアクセスURLの注意点について
- 製品へのアクセスに必要なURLパスについて
- 「利用ユーザーの設定」画面の見かた
- リモートサービスのアクセス情報
- KUNAI Lite for BlackBerry(R)の「利用端末の管理」画面の見かた
- 「利用端末の管理」画面の見かた

製品へのアクセスURLの注意点について

製品へのアクセスURLを追加する場合は、次の点に注意してください。

- **登録できる製品**
リモートサービスを利用できる製品については、製品情報の動作環境にある[対応製品](#)を参照してください。
- **サイボウズ製品のアクセスURL**
大文字と小文字を区別し、正しく入力してください。
 - **サイボウズ Office パッケージ版の場合**
Windows版：http://(サーバーのIPアドレスまたはホスト名)/scripts/cbag/ag.exe
Linux版：http://(サーバーのIPアドレスまたはホスト名)/cgi-bin/cbag/ag.cgi
 - **ガルーン 2またはガルーン 3の場合**
Windows版：http://(サーバーのIPアドレスまたはFQDN)/scripts/cbgrn/grn.exe
Linux版：http://(サーバーのIPアドレスまたはホスト名)/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi
- **サードパーティ製品のアクセスURL**
サードパーティ製品は、リモートサービスの試用期間中またはライセンスが有効な場合に追加できます。
アクセスURLは、大文字と小文字を区別し、正しく入力してください。
例) サードパーティ製品
ログイン画面またはトップページのURL

製品へのアクセスに必要なURLパスについて

サードパーティ製品を利用製品に追加する場合は、次の情報が保存されているURLパスを入力します。

- 製品の画像ファイル：/***/***/image/
- CSSファイル：/***/***/css/
- HTMLファイル：/***/html/
- JavaScriptファイル：/***/js/

- 1 「利用製品の追加」画面で、製品のアクセスURLを入力し、**追加する** をクリックする
- 2 **←URLパスを抽出する** をクリックし、画面に従って操作する
- 3 「URLパスの抽出」画面で、**抽出する** をクリックする
- 4 **追加する** をクリックする



- 次の場合は、下記の操作でURLパスを設定します。
 - 初めてサードパーティ製品を利用製品に追加する場合：
手順1のあと、自動的に必要なURLパスが入力されます。 手動でURLパスを設定する場合は、「製品へのアクセスに必要なURLパス」欄の「URLパスを入力する」を選択したあと、上記の手順2から操作します。
 - サードパーティ製品のページが適切に表示されない場合：
表示されないページのソースコードを手順2で表示される「URLパスの抽出」画面のテキストエリアに張り付け、URLパスを抽出します。
 - 誤ったURLパスが設定されると、リモートサービス経由でアクセスしても、画面が表示されなかったり、表示が崩れたりします。

「利用ユーザーの設定」画面の見かた

「利用ユーザーの設定」画面の見かたを説明します。
サイボウズ製品が利用製品として登録されている場合に表示されます。

■ 「利用ユーザーの設定」画面



1 ユーザー数の確認

ライセンスに登録されている契約ユーザー数と、製品の利用ユーザーに登録されている登録ユーザー数が表示されます。

- ▶ [利用ユーザーを追加する\(パソコン\)](#) ▶ [利用ユーザーを追加する\(携帯電話\)](#)
- ▶ [利用ユーザーを追加する\(KUNAI for Windows phone\)](#)
- ▶ [利用ユーザーを追加する\(KUNAI for BlackBerry\)](#)
- ▶ [利用ユーザーを追加する\(KUNAI for iPhone\)](#) ▶ [利用ユーザーを追加する\(KUNAI for Android\)](#)

2 製品のアクセス情報

製品のアクセス情報を確認できます。リモートサービスマネージャーの「利用ユーザーの設定」画面でのみ表示されます。

- ▶ [アクセス情報をユーザーに連絡する\(パソコン\)](#) ▶ [アクセス情報をユーザーに連絡する\(携帯電話\)](#)
- ▶ [アクセス情報をユーザーに連絡する\(KUNAI for BlackBerry\(R\)\)](#)
- ▶ [アクセス情報をユーザーに連絡する\(KUNAI for iPhone\)](#)
- ▶ [アクセス情報をユーザーに連絡する\(KUNAI for Android\)](#)

3 最終アクセス日時

- 3 最終アクセス日時欄には、ユーザーが最後にアクセスした時間が表示されます。リモートサービスマネージャーの「利用ユーザーの設定」画面でのみ表示されます。

4 利用ユーザーの検索

ユーザー名検索 を使うと、選択しているグループの中から該当するユーザーを検索できます。

リモートサービスのアクセス情報

「製品情報の詳細」画面には、次の情報が表示されます。

■ リモートサービスのアクセス情報

項目	説明
製品名	利用している製品の製品名です。
製品のアクセスURL	利用している製品の製品認証URLです。 製品認証URLとは、製品のアクセスURLにリモートサービス用の文字列を付加したURLです。
契約ユーザー数	契約しているユーザー数です。
登録ユーザー数	登録しているユーザー数です。
利用する証明書 ^{*1}	利用製品がアクセスを許可する製品として設定されているクライアント証明書です。
証明書の利用方法	利用ユーザーにリモートサービスへのアクセス情報を連絡する手順が記載されています。
サードパーティ製品への同時接続数	サードパーティ製品に同時に接続しているユーザー数です。 サードパーティ製品へのアクセスの制限事項
製品へのアクセスに必要なURLパス ^{*2}	リモートサービス経由で製品にアクセスする場合に必要なURLパスです。
操作手順	「製品情報の詳細」画面で操作する手順が記載されています。

*1: セキュアアクセスオプションが有効な場合に表示されます。

*2: 利用製品としてサードパーティ製品が登録されている場合に表示されます。

KUNAI Lite for BlackBerry(R)の「利用端末の管理」画面の見かた

KUNAI Lite for BlackBerry(R)の「利用端末の管理」画面の見かたを説明します。



- KUNAI Lite for BlackBerry(R)の「利用端末の管理」画面は、バージョン 2.3.0以前のリモートサービスマネージャーで、KUNAI Liteを導入している場合に表示されます。
- バージョン 2.3.0以前のリモートサービスマネージャーを使用している場合を例に説明します。

■ KUNAI Lite for BlackBerry(R)の「利用端末の管理」画面



1 利用端末の操作

利用端末を追加できます。

- [利用端末を追加する\(KUNAI Lite for BlackBerry\)](#)

2 利用端末の検索

- 次の項目を検索対象として、端末を検索します。
 - 電話番号
 - メールアドレス
 - 備考欄のコメント
 - 利用ユーザー名
- **詳細検索** をクリックすると、次の項目を絞り込んで利用端末を検索できます。
 - 検索項目
 - 利用状況
 - アプリのバージョン

3 利用状況の確認

利用状況欄には、次のアイコンが表示されます。

■ 利用状況のアイコン

項目	説明
—	シンクアプリがインストールされていません。
	利用端末は、最新の状態で、シンクされる情報はありません。
	利用端末が初期化されていません。初期化処理のシンク待ちです。

4 端末情報の確認

利用端末を使用できるユーザーやインストールされているシンクアプリのバージョンが表示されます。登録端末のリンクをクリックすると、「端末情報の詳細」画面が表示されます。

5 選択操作

選択した利用端末に対し、まとめて次の操作ができます。

- 利用端末の初期化

- 5 ● [利用端末を初期化する\(KUNAI Lite for BlackBerry\)](#)
 - 利用端末の削除
 - ▣ [利用端末を削除する\(KUNAI Lite for BlackBerry\)](#)

6 CSVファイルにより管理

CSVファイルで利用端末情報を管理できます。

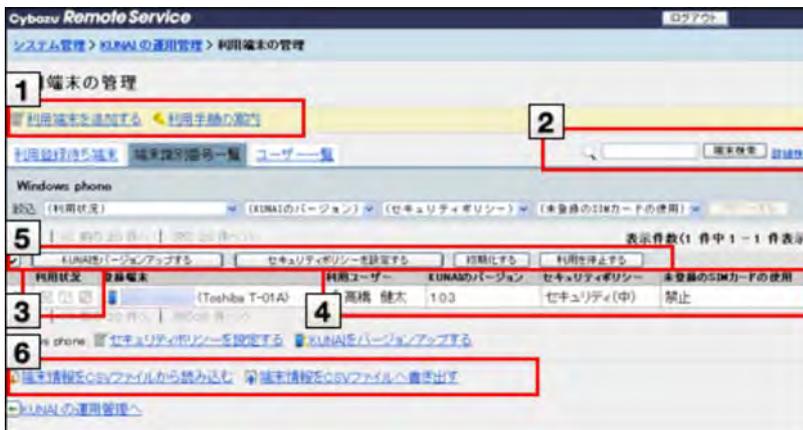
- ▣ [端末情報をCSVファイルで管理する\(KUNAI Lite for BlackBerry\)](#)

「利用端末の管理」画面の見かた

「利用端末の管理」画面の見かたを説明します。

- **+**補足 ● 「利用端末の管理」画面は、リモートサービスマネージャーで端末を管理する場合に使用します。

▣ 「利用端末の管理」画面



1 利用端末の操作

- 次の操作ができます。
 - 利用端末の追加
 - KUNAIのダウンロード
 - KUNAIのバージョンアップ
 - セキュリティポリシーの設定
 - ▣ [セキュリティポリシーを追加する\(KUNAI for Windows phone\)](#)

2 利用端末の検索

- 次の項目を検索対象として、端末を検索します。
 - 電話番号
 - メールアドレス
 - 備考欄のコメント
 - 利用ユーザー名
- **詳細検索**をクリックすると、次の項目を絞り込んで利用端末を検索できます。
 - 検索項目

- 2 ● ■ 利用状況
 - セキュリティ設定
 - KUNAIのバージョン

3 利用状況の確認

利用状況欄には、次のアイコンが表示されます。

■ 利用状況のアイコン

項目	説明
—	KUNAIがインストールされていません。
	利用端末は、最新の状態で、シンクされる情報はありません。
	利用端末が初期化されていません。初期化処理のシンク待ちです。
	利用端末のセキュリティ設定が変更されていません。セキュリティ設定のシンク待ちです。
	<p>利用端末のKUNAIがバージョンアップされていません。バージョンアップのシンク待ちです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「端末情報の詳細」画面では、バージョンアップされていない理由を確認できます。バージョンアップされていない理由は、次のどちらかです。 <ul style="list-style-type: none"> ■ KUNAIが配布されていない ■ ユーザーが端末でバージョンアップ作業をしていない

4 端末情報の確認

- 次の情報が確認できます。
 - 利用端末を使用できるユーザー
 - インストールされているKUNAIのバージョン
 - 設定されているセキュリティポリシー
 - 未登録SIMカードの使用許可

「端末情報の詳細」画面では、最後にシンクした時間やセキュリティポリシーの設定を変更した時間を確認できます。

5 選択操作

選択した利用端末に対し、まとめて次の操作ができます。

- 利用端末の初期化
- 利用端末の削除
- セキュリティポリシーの設定
- KUNAIのバージョンアップ
 - ▶ [KUNAI for Windows phoneからのアクセス](#) ▶ [KUNAI for BlackBerry\(R\)からのアクセス](#)
 - ▶ [KUNAI for iPhoneからのアクセス](#) ▶ [KUNAI for Androidからのアクセス](#)

6 CSVファイルによる管理

CSVファイルで利用端末情報を管理できます。

パソコンからのアクセス

パソコンからのアクセス

パソコンからリモートサービスを利用する場合に必要な設定や操作について説明します。

- +補足**
- 初期設定時にリモートサービスを試用するサービスとして選択していない場合は、最初にリモートサービスの試用を開始します。
 - ▶ [サービスの試用を開始する](#)

導入ガイド

- ▶ [パソコンからアクセスする場合](#)

運用管理

- ▶ [利用製品を管理する](#)
 - ▣ [サイボウズ製品の場合](#)
 - ▣ [サードパーティ製品の場合](#)
- ▶ [利用ユーザーを管理する](#)
 - ▣ [利用ユーザーを追加する](#)
 - ▣ [利用ユーザーを削除する](#)
- ▶ [クライアント証明書を管理する](#)
 - ▣ [証明書を発行する](#)
 - ▣ [証明書を変更する](#)
 - ▣ [証明書のステータスを変更する](#)
 - ▣ [利用する証明書を設定する](#)
 - ▣ [証明書を削除する](#)
- ▶ [アクセス情報をユーザーに連絡する](#)
- ▶ [リモートポータルを設定する](#)
 - ▣ [リモートポータルとは](#)
 - ▣ [リモートポータルを利用する](#)
 - ▣ [表示内容を設定する](#)
 - ▣ [リモートポータルのURLをユーザーに連絡する](#)

パソコンからのアクセス

利用製品を管理する

パソコンからリモートサービスを経由して接続する製品を、リモートサービスマネージャーで管理します。



注意

- Office 8とOffice 8 plus デヂエを使用する場合は、両方の製品を登録製品として登録する必要があります。
- リモートサービスの試用期間中またはライセンスが有効な場合、サードパーティ製品を利用製品に追加できます。

[製品サイト](#) : [価格](#)・[見積](#)・[発注](#)

- ▣ [サイボウズ製品の場合](#)
- ▣ [サードパーティ製品の場合](#)

サイボウズ製品の場合

サイボウズ製品を利用製品として設定します。

- ▣ [サイボウズ製品を追加する](#)
- ▣ [サイボウズ製品を更新する](#)
- ▣ [サイボウズ製品を削除する](#)

サイボウズ製品を追加する

利用製品を追加する方法を説明します。

- 利用ユーザーを登録する前に、利用製品を追加します。

1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) > [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする

2 [利用製品を追加する](#) をクリックする

3 製品のアクセスURLを入力し、[追加する](#) をクリックする

▣ [製品のアクセスURLの注意点について](#)

4 追加された内容を確認する

引き続き、次の設定をします。

- 利用ユーザーを追加する : [利用ユーザーの設定へ](#) をクリックし、製品を利用するユーザーを追加します。
▣ [利用ユーザーを追加する](#)
- 利用する証明書を設定する : [利用する証明書を設定する](#) をクリックします。お使いのライセンスによっては、表示されません。
▣ [利用する証明書を設定する](#)

4



クリック

サイボウズ製品を更新する

登録されている利用製品の製品情報を更新する方法を説明します。

- 次の場合、利用製品の製品情報を更新します。
 - 利用製品をバージョンアップした場合
 - 利用製品でケータイ機能の使用を開始した場合
 - 利用製品のサーバーを移行し、製品のアクセスURLが変更になった場合
- 利用ユーザーの設定は、製品情報を更新しても、変更する必要はありません。

- 1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする
- 2 更新する製品名を選択する
- 3  [製品情報を更新する](#)をクリックする
- 4 製品のアクセスURLを入力し、[更新する](#)をクリックする
 - ▶ [製品のアクセスURLの注意点について](#)

サイボウズ製品を削除する

利用製品を削除する方法を説明します。



注意

- 利用製品を削除すると、その製品に設定されている利用ユーザーも削除されます。
- KUNAI Lite for BlackBerry(R)を利用している場合は、利用製品を削除すると、KUNAI Lite for BlackBerry(R)をインストールしているBlackBerry端末内の次のデータも削除されます。
 - スケジュールのすべてのデータ
 - アドレス帳のすべてのデータ
 - メールアプリのメールデータ

- 1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする
- 2 削除する製品名を選択する

3 削除するをクリックする

4 削除する場合は、 **削除する** をクリックする

-  **ヒント** ● 次の画面からも、利用製品を削除できます。
- 「製品／ユーザーの設定」画面で、削除する製品のチェックボックスにチェックを入れて、 **削除する** をクリックする

サードパーティ製品の場合

プレミアムライセンスとお使いのサードパーティ製品のライセンスが有効な場合に、サードパーティ製品を利用製品として設定できます。

-  **注意** ● **サードパーティ製品へのアクセスの制限事項**
リモートサービス経由でアクセスできるサードパーティ製品には、次の制限事項があります。
- 1人のユーザーでも、パソコンやスマートフォンなどの異なる端末から同じ製品にアクセスすると、2接続とカウントされます。
 - 同時接続数は、製品単位ではなく、すべてのサードパーティ製品に対する接続数の合計です。
- **同時接続数とは**
サードパーティ製品に同時に接続できるユーザーの数です。アクセスが同時接続数を超えると、最終アクセス日時が古いユーザーのアクセスが切断され、新しいユーザーが製品にアクセスできます。同時接続数はリモートサービスマネージャー上で確認できます。
- [☑ リモートサービスのアクセス情報](#)

- ☑ [サードパーティ製品を追加する](#)
- ☑ [サードパーティ製品を変更する](#)
- ☑ [サードパーティ製品を削除する](#)

サードパーティ製品を追加する

利用製品を追加する方法を説明します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、 [リモートサービスの運用管理](#) >  **製品/ユーザーの設定** の順をクリックする
- 2  **利用製品を追加する** をクリックする
- 3 **製品のアクセスURLを入力し、 **追加する** をクリックする**
[▶ 製品のアクセスURLの注意点について](#)
- 4 **必要な項目を入力し、 **追加する** をクリックする**
設定する項目は次のとおりです。
 - 製品名
 - 製品へのアクセスに必要なURLパス
[▶ 製品へのアクセスに必要なURLパスについて](#)
- 5 **追加された内容を確認する**

5 引き続き、次の設定をします。

- アクセス情報を連絡する： **アクセス情報を連絡する** をクリックし、製品のアクセス情報を確認したあと、ユーザーに利用方法を連絡します。
▶ [アクセス情報をユーザーに連絡する](#)
- 利用する証明書を設定する： **利用する証明書を設定する** をクリックします。お使いのライセンスによっては、表示されません。
▶ [利用する証明書を設定する](#)



サードパーティ 製品を変更する

登録されている利用製品の製品情報を変更する方法を説明します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#) の順にクリックする
- 2 更新する製品名を選択する
- 3  [製品情報を変更する](#) をクリックする
- 4 製品のアクセスURLを入力し、**変更する** をクリックする
設定する項目は次のとおりです。
 - 製品のアクセスURL
▶ [製品のアクセスURLの注意点について](#)
 - 製品名
 - 製品へのアクセスに必要なURLパス
▶ [製品へのアクセスに必要なURLパスについて](#)

サードパーティ 製品を削除する

利用製品を削除する方法を説明します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#) の順にクリックする
- 2 削除する製品名を選択する
- 3  [削除する](#) をクリックする

4 削除する場合は、 **削除する** をクリックする

 **ヒント** ● 次の画面からも、利用製品を削除できます。

- 「製品／ユーザーの設定」画面で、削除する製品のチェックボックスにチェックを入れて、 **削除する** をクリックする **削除**

パソコンからのアクセス

利用ユーザーを管理する

パソコンからリモートサービスを経由してサイボウズ製品に接続できるユーザーを、リモートサービスマネージャーで管理します。



- サイボウズ製品を利用製品に追加している場合に、利用ユーザーを設定します。
- 利用ユーザーを登録する前に、次の設定が完了していることを確認します。
 - 利用製品の登録



- 利用ユーザーの設定時に、製品のシステム管理者のユーザー名とパスワードを入力する画面が表示される場合があります。サイボウズ共通認証が設定されている場合でも、システム管理者として製品にログインする必要があります。

[利用ユーザーを追加する](#)

[利用ユーザーを削除する](#)

利用ユーザーを追加する

利用ユーザーを追加する方法を説明します。

- 利用製品を追加したあとに、引き続きユーザーを追加する場合は、手順3から操作します。

1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) > [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする

2 ユーザーを追加する製品の[利用ユーザーの設定](#)をクリックする

3 システム管理者として製品にログインする

製品にログインする必要がない場合は、この手順は省略されます。手順4に進みます。
ログイン方法は、製品での設定により異なります。

4 [利用ユーザーを追加する](#) をクリックする

すでに利用ユーザーが登録されている場合は、利用ユーザーに登録されている人数や利用ユーザー名を確認できます。

[「利用ユーザーの設定」画面の見かた](#)

5 追加するユーザーを選択し、[追加する](#) をクリックする

左のリストからグループを選択したあと、追加するユーザーを選択して、[↓候補](#) をクリックし、[追加する](#) をクリックします。

所属ユーザー一覧の右上に検索欄が表示されている場合は、キーワードを入力し、候補のユーザーを検索できます。

候補に追加したユーザーを削除する場合、候補の中から削除するユーザーを選択して、[↑削除](#) をクリックします。

6 追加された内容を確認する

引き続き、[利用ユーザーにアクセス情報を連絡する](#) をクリックし、製品を利用するユーザーにアクセス情報を連絡します。

▶ [アクセス情報をユーザーに連絡する](#)

利用ユーザーを追加する場合は、[さらに利用ユーザーを追加する](#) をクリックし、手順5からの操作を繰り返します。

利用ユーザーを削除する

利用ユーザーを削除する方法を説明します。



● KUNAI Lite for BlackBerry(R)を利用している場合は、利用ユーザーを削除すると、KUNAI Lite for BlackBerry(R)をインストールしているBlackBerry端末内の次のデータも削除されます。

- スケジュールのすべてのデータ
- アドレス帳のすべてのデータ
- メールアプリのメールデータ



● 製品側でユーザーを削除してもリモートサービスマネージャーには反映されません。製品側でユーザーを削除した場合は、リモートサービスマネージャー側でもユーザーを削除する必要があります。

1 「利用ユーザーの設定」画面を表示する

▶ [利用ユーザーを追加する](#)の手順1~3

2 削除するユーザーにチェックを入れ、[利用ユーザーから外す](#) をクリックする

ユーザーを検索する場合は、画面右上の検索欄にキーワードを入力し、候補のユーザーを検索します。

3 利用ユーザーから外す場合は、[解除する](#) をクリックする

パソコンからのアクセス

クライアント証明書を管理する

クライアント証明書を管理する方法を説明します。

リモートサービスのセキュアアクセスオプションが有効な場合、リモートサービスマネージャーでは次の証明書を管理します。

- マスターのクライアント証明書：
サイボウズ株式会社が発行する証明書です。ライセンス情報やリモートID を含みます。すべての利用製品にアクセスできます。
- ユーザー発行クライアント証明書：
システム管理者が発行するクライアント証明書です。ライセンス情報は含みません。各証明書でアクセスを許可する製品や利用期限を設定できるため、用途に合わせて、ユーザーに証明書を配布すると便利です。
例)
 - 派遣社員のグループ：
利用期限が1年間で、かつ製品A と製品D へのアクセスを許可する証明書を配布する。
 - 部長以上のグループ：
利用期限が2年間で、かつすべての製品へのアクセスを許可する証明書を配布する。



注意

- クライアント証明書の管理機能は、リモートサービスのセキュアアクセスオプションが有効な場合に使用できます。
ただし、証明書のステータスの変更は、リモートサービスのセキュアアクセスオプションが無効な場合でも設定できます。

- ▼ [証明書を発行する](#)
- ▼ [証明書を変更する](#)
- ▼ [証明書のステータスを変更する](#)
- ▼ [利用する証明書を設定する](#)
- ▼ [証明書を削除する](#)

証明書を発行する

ユーザー発行クライアント証明書を発行する方法を説明します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [クライアント証明書の管理](#)の順にクリックする
- 2 ユーザー発行クライアント証明書の欄で、 [発行する](#) をクリックする
- 3 必要な項目を設定し、[発行する](#) をクリックする
設定する項目は、次のとおりです。
 - 証明書名
 - フレンドリー名
 - ▶ [フレンドリー名とは](#)
 - 利用期限
 - アクセスを許可する製品

3 ● 備考



● フレンドリー名とは

ユーザー発行クライアント証明書を区別するための文字列です。リモートサービスにアクセスすると、利用している証明書のフレンドリー名がWeb ブラウザーに表示されます。Web ブラウザーの種類によっては、フレンドリー名が表示されません。

● フレンドリー名の制限事項

設定したフレンドリー名は変更できません。使用できる文字は、次のとおりです。

- 半角スペースと「a-z、A-Z、0-9、'、+、-、:、,、.、?、()」

証明書を変更する

ユーザー発行クライアント証明書を変更する方法を説明します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **クライアント証明書の管理**の順にクリックする
- 2 変更する証明書を選択する
- 3  **変更する**をクリックする
- 4 必要な項目を設定し、**変更する** をクリックする
設定する項目は、次のとおりです。
 - 証明書名
 - 利用期限
 - アクセスを許可する製品
 - 備考

証明書のステータスを変更する

マスターのクライアント証明書とユーザー発行クライアント証明書のステータスを変更する方法を説明します。証明書を無効にすると、その証明書を使用するユーザーは利用製品にアクセスできません。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **クライアント証明書の管理**の順にクリックする
- 2 変更する証明書を選択する
- 3  **有効にする**をクリックする
証明書を無効にする場合は、 **無効にする** をクリックします。
- 4 証明書を有効にする場合は、**有効にする** をクリックする
証明書を無効にする場合は、**無効にする** をクリックします。

利用する証明書を設定する

各製品で利用する証明書を設定する方法を説明します。

- 利用製品を追加したあとに、利用する証明書を設定する場合は、手順3から操作します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **製品/ユーザーの設定**の順にクリックする
- 2 利用する証明書を設定する製品を選択する
- 3  **利用する証明書を設定する**をクリックする
- 4 証明書一覧から、利用する証明書を選択し、**←追加** > **設定する**の順にクリックする
選択を解除する場合、証明書を選擇して、**→削除**をクリックします。

証明書を削除する

ユーザー発行クライアント証明書を削除する方法を説明します。

- +補足**
- マスターのクライアント証明書は削除できません。
 - 削除したユーザー発行クライアント証明書は、元に戻せません。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **クライアント証明書の管理**の順にクリックする
- 2 削除する証明書を選択する
- 3  **削除する**をクリックする
- 4 削除する証明書を確認し、**削除する**をクリックする

- ヒント**
- 次の画面からも、ユーザー発行クライアント証明書を削除できます。
 - 「クライアント証明書の管理」画面で、削除する証明書のチェックボックスにチェックを入れて、**削除する**をクリックする

パソコンからのアクセス

アクセス情報をユーザーに連絡する

利用ユーザーに、利用製品のアクセス情報を連絡します。

- 次の情報を利用ユーザーに連絡します。
 - リモートアクセスURL(PC)
 - ダウンロードしたクライアント証明書
 - クライアント証明書のパスワード
- 利用ユーザーを追加したあとで、「製品情報の詳細」画面を表示した場合は、手順4から操作します。



注意

- リモートサービスのセキュアアクセスオプションが無効な場合、ユーザーに配布するクライアント証明書は、リモートサービスマネージャーの「ライセンスの管理」画面で設定したクライアント証明書と同じです。
- 利用製品を複数登録している場合でも、利用する製品を追加するたびにクライアント証明書をダウンロードしたり、ユーザーにクライアント証明書を配布したりする必要はありません。
- クライアント証明書を配布する前に、次の設定が完了していることを確認します。
 - 利用製品の登録
 - 利用ユーザーの登録
 - 利用する証明書の設定：リモートサービスのセキュアアクセスオプションが有効な場合に設定します。

1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする

2 該当する製品名を選択する

3 利用する証明書の [\[証明書の利用方法\]](#) をクリックする

お使いのライセンスによっては、複数の証明書が表示されます。

4 アクセス情報を確認する

次の情報を確認します。

- クライアント証明書のパスワード
- 利用製品のリモートアクセスURL(PC)：「アクセス情報」タブで確認します。

5 [ダウンロードする](#) をクリックし、[クライアント証明書をダウンロードする](#)

クライアント証明書を、パソコンにダウンロードします。

6 ユーザーに連絡する

E-mailなどを使用し、必要な情報をユーザーに連絡します。

「証明書の詳細」画面の「リモートサービスの利用方法」タブに記載されている内容を、ユーザーに連絡すると便利です。



補足

● リモートポータルを利用する場合

リモートポータルを利用すると、製品ごとにアクセスURLを連絡する必要はありません。

リモートポータルのURLだけをユーザーに連絡すれば、リモートサービス経由で各製品にアクセスできます。

- [▶ リモートポータルを設定する](#)
- サードパーティ製品にアクセスする際の制限事項を連絡します。
 - ▶ [サードパーティ製品へのアクセスの制限事項](#)

パソコンからのアクセス

リモートポータルを設定する

リモートポータルを利用するために必要な設定について説明します。

- ▼ [リモートポータルとは](#)
- ▼ [リモートポータルを利用する](#)
- ▼ [表示内容を設定する](#)
- ▼ [リモートポータルのURLをユーザーに連絡する](#)

リモートポータルとは

リモートポータルとは、パソコンからリモートサービスを経由して製品にアクセスするユーザーが閲覧できるポータル画面です。

- ユーザーは、リモートポータル (<https://remote2.cybozu.co.jp/>) にアクセスし、各製品に接続したり、システム管理者からのお知らせを確認したりできます。
- 「リモートポータル」画面から複数の利用製品にアクセスできます。

▼ 「リモートポータル」画面

The screenshot shows the 'Cybozu Remote Service' portal. It features three main sections: '表示する製品一覧' (List of products to display) with a link to 'サイボウズGaroon 3.1.0', 'システム管理者からのお知らせ' (System administrator notices) with a notice about maintenance on 6/4, and 'サイボウズからのお知らせ' (Cybozu notices) with a list of maintenance events from 2011 to 2010. Red boxes highlight these sections, and red arrows point to them from external text labels: 'アクセスする製品を選択する' (Select products to access) points to the product list, 'サイボウズからの連絡事項を確認する' (Check contact items from Cybozu) points to the Cybozu notices, and 'システム管理者からの連絡事項を確認する' (Check contact items from system administrator) points to the system administrator notices.



注意

- 「リモートポータル」画面にアクセスするには、クライアント証明書の登録が必要です。リモートポータルを使用するユーザーに、必ずクライアント証明書とクライアント証明書のパスワードを連絡してください。
- ▶ [アクセス情報をユーザーに連絡する](#)
- 「リモートポータル」画面に製品が表示されていても、利用ユーザーとして登録されていない製品や、クライアント証明書でアクセスを許可されていない製品にはアクセスできません。
- 「リモートポータル」画面は、携帯電話からはアクセスできません。

リモートポータルを利用する

リモートポータルを利用するために必要な設定をします。

- 1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [リモートポータル](#)の**設定**の順にクリックする
- 2  [リモートポータルの利用](#)をクリックする
- 3 「利用する」にチェックを入れ、**設定する** をクリックする

表示内容を設定する

リモートポータルに表示する内容を設定します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [リモートポータル](#)の**設定**の順にクリックする
- 2  [表示の設定](#) をクリックする
- 3 リモートポータルに表示する内容を設定する



「リモートポータル」画面のプレビューを確認できます。

「リモートポータル」画面に表示するロゴを設定できます。ロゴ画面には、Webサーバーやパソコンに保存されている画像を指定できます。

表示するメッセージを登録できます。

「リモートポータル」画面に表示する製品や表示名を設定できます。

リモートポータルのURLをユーザーに連絡する

リモートポータルを設定したら、利用ユーザーに、リモートポータルのアクセスURLを連絡します。

- 1 「製品情報の詳細」画面で、**ダウンロードする** をクリックし、クライアント証明書をダウンロードする
「製品情報の詳細」画面に表示されるクライアント証明書のパスワードも確認します。
[アクセス情報をユーザーに連絡する](#)
- 2 **ユーザーに連絡する**
E-mailなどを使用し、「リモートポータル」画面のURL、手順1でダウンロードしたクライアント証明書とクライアント証明書のパスワードをユーザーに連絡します。

2 「リモートポータル」画面のURL : <https://remote2.cybozu.co.jp/>

携帯電話からのアクセス

携帯電話からのアクセス

携帯電話からリモートサービスを利用する場合に必要な設定や操作について説明します。

- +補足** ● 初期設定時にリモートサービスを試用するサービスとして選択していない場合は、最初にリモートサービスの試用を開始します。
 - ▶ [サービスの試用を開始する](#)

導入ガイド

- ▶ [携帯電話からアクセスする場合](#)

運用管理

- ▶ [利用製品を管理する](#)
 - ▶ [サイボウズ製品の場合](#)
 - ▶ [サードパーティ製品の場合](#)
- ▶ [利用ユーザーを管理する](#)
 - ▶ [利用ユーザーを追加する](#)
 - ▶ [利用ユーザーを削除する](#)
- ▶ [クライアント証明書を管理する](#)
 - ▶ [証明書を発行する](#)
 - ▶ [証明書を変更する](#)
 - ▶ [証明書のステータスを変更する](#)
 - ▶ [利用する証明書を設定する](#)
 - ▶ [証明書を削除する](#)
- ▶ [アクセス情報をユーザーに連絡する](#)

携帯電話からのアクセス

利用製品を管理する

携帯電話からリモートサービスを経由して接続する製品を、リモートサービスマネージャーで管理します。



注意

- バージョン 2.1.2以前のリモートサービス(リレークライアント)を使用している場合
Office 7やOffice 8のケータイを使用する場合は、利用製品に追加する前に運用を開始してください。
運用を開始する前にリモートサービスマネージャーに登録した場合は、登録されている製品を一度削除し、運用を開始したあとに、利用製品を登録する必要があります。
 - リモートサービスの試用期間中またはライセンスが有効な場合、サードパーティ製品を利用製品に追加できます。
- [製品サイト](#) : [価格](#)・[見積](#)・[発注](#)

- ▣ [サイボウズ製品の場合](#)
- ▣ [サードパーティ製品の場合](#)

サイボウズ製品の場合

サイボウズ製品を利用製品として設定します。

- ▣ [サイボウズ製品を追加する](#)
- ▣ [サイボウズ製品を更新する](#)
- ▣ [サイボウズ製品を削除する](#)

サイボウズ製品を追加する

利用製品を追加する方法を説明します。

- 利用ユーザーを登録する前に、利用製品を追加します。

1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする

2  [利用製品を追加する](#) をクリックする

3 製品のアクセスURLを入力し、[追加する](#) をクリックする

▣ [製品のアクセスURLの注意点について](#)

4 追加された内容を確認する

引き続き、次の設定をします。

- 利用ユーザーを追加する : [利用ユーザーの設定へ](#) をクリックし、製品を利用するユーザーを追加します。
▣ [利用ユーザーを追加する](#)
- 利用する証明書を設定する : [利用する証明書を設定する](#) をクリックします。お使いのライセンスによっては、表示されません。
▣ [利用する証明書を設定する](#)

4



クリック

サイボウズ製品を更新する

登録されている利用製品の製品情報を更新する方法を説明します。

- 次の場合、利用製品の製品情報を更新します。
 - 利用製品をバージョンアップした場合
 - 利用製品でケータイ機能の使用を開始した場合
 - 利用製品のサーバーを移行し、製品のアクセスURLが変更になった場合
- 利用ユーザーの設定は、製品情報を更新しても、変更する必要はありません。

- 1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする
- 2 更新する製品名を選択する
- 3  [製品情報を更新する](#) をクリックする
- 4 製品のアクセスURLを入力し、[更新する](#) をクリックする
 - ▶ [製品のアクセスURLの注意点について](#)

サイボウズ製品を削除する

利用製品を削除する方法を説明します。



注意

- 利用製品を削除すると、その製品に設定されている利用ユーザーも削除されます。
- KUNAI Lite for BlackBerry(R)を利用している場合は、利用製品を削除すると、KUNAI Lite for BlackBerry(R)をインストールしているBlackBerry端末内の次のデータも削除されます。
 - スケジュールのすべてのデータ
 - アドレス帳のすべてのデータ
 - メールアプリのメールデータ

- 1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする
- 2 削除する製品名を選択する

3 削除するをクリックする

4 削除する場合は、 **削除する** をクリックする

 **ヒント** ● 次の画面からも、利用製品を削除できます。

- 「製品/ユーザーの設定」画面で、削除する製品のチェックボックスにチェックを入れて、 **削除する** をクリックする

サードパーティ製品の場合

プレミアムライセンスとお使いのサードパーティ製品のライセンスが有効な場合に、サードパーティ製品を利用製品として設定できます。

 **注意** ● お使いのサードパーティ製品がケータイからのアクセスに対応しているかどうかは、各製品のマニュアル、または窓口にお問い合わせ下さい。

● サードパーティ製品へのアクセスの制限事項

リモートサービス経由でアクセスできるサードパーティ製品には、次の制限事項があります。

- 1人のユーザーでも、パソコンやスマートフォンなどの異なる端末から同じ製品にアクセスすると、2接続とカウントされます。
- 同時接続数は、製品単位ではなく、すべてのサードパーティ製品に対する接続数の合計です。

● 同時接続数とは

サードパーティ製品に同時に接続できるユーザーの数です。アクセスが同時接続数を超えると、最終アクセス日時が古いユーザーのアクセスが切断され、新しいユーザーが製品にアクセスできます。同時接続数はリモートサービスマネージャー上で確認できます。

[☐ リモートサービスのアクセス情報](#)

[☑ サードパーティ製品を追加する](#)

[☑ サードパーティ製品を変更する](#)

[☑ サードパーティ製品を削除する](#)

サードパーティ製品を追加する

利用製品を追加する方法を説明します。

1 リモートサービスマネージャーで、 [リモートサービスの運用管理](#) > [製品/ユーザーの設定](#) の順をクリックする

2 [利用製品を追加する](#) をクリックする

3 製品のアクセスURLを入力し、 **追加する** をクリックする

[☑ 製品のアクセスURLの注意点について](#)

4 必要な項目を入力し、 **追加する** をクリックする

設定する項目は次のとおりです。

- 製品名
- 製品へのアクセスに必要なURLパス

4 ● [製品へのアクセスに必要なURLパスについて](#)

5 追加された内容を確認する

引き続き、次の設定をします。

- アクセス情報を連絡する： **アクセス情報を連絡する** をクリックし、製品のアクセス情報を確認したあと、ユーザーに利用方法を連絡します。

▶ [アクセス情報をユーザーに連絡する](#)

- 利用する証明書を設定する： **利用する証明書を設定する** をクリックします。お使いのライセンスによっては、表示されません。

▶ [利用する証明書を設定する](#)



クリック

サードパーティ 製品を変更する

登録されている利用製品の製品情報を変更する方法を説明します。

1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#) の順にクリックする

2 更新する製品名を選択する

3  [製品情報を変更する](#) をクリックする

4 製品のアクセスURLを入力し、**変更する** をクリックする

設定する項目は次のとおりです。

- 製品のアクセスURL
 - ▶ [製品のアクセスURLの注意点について](#)
- 製品名
- 製品へのアクセスに必要なURLパス
 - ▶ [製品へのアクセスに必要なURLパスについて](#)

サードパーティ 製品を削除する

利用製品を削除する方法を説明します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする
- 2 削除する製品名を選択する
- 3  [削除する](#) をクリックする
- 4 削除する場合は、[削除する](#) をクリックする

 **ヒント** ● 次の画面からも、利用製品を削除できます。

- 「製品/ユーザーの設定」画面で、削除する製品のチェックボックスにチェックを入れて、[削除する](#) [削除する](#) をクリックする

携帯電話からのアクセス

利用ユーザーを管理する

携帯電話からリモートサービスを経由してサイボウズ製品に接続できるユーザーを、リモートサービスマネージャーで管理します。

- 注意** ● サイボウズ製品が利用製品として登録されている場合に、利用ユーザーを設定します
- 利用ユーザーを登録する前に、次の設定が完了していることを確認します。
 - 利用製品の登録

- 補足** ● 利用ユーザーの設定時に、製品のシステム管理者のユーザー名とパスワードを入力する画面が表示される場合があります。サイボウズ共通認証が設定されている場合でも、システム管理者として製品にログインする必要があります。

- ▣ [利用ユーザーを追加する](#)
- ▣ [利用ユーザーを削除する](#)

利用ユーザーを追加する

利用ユーザーを追加する方法を説明します。

- 利用製品を追加したあとに、引き続きユーザーを追加する場合は、手順3から操作します。

1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする

2 ユーザーを追加する製品の[利用ユーザーの設定](#)をクリックする

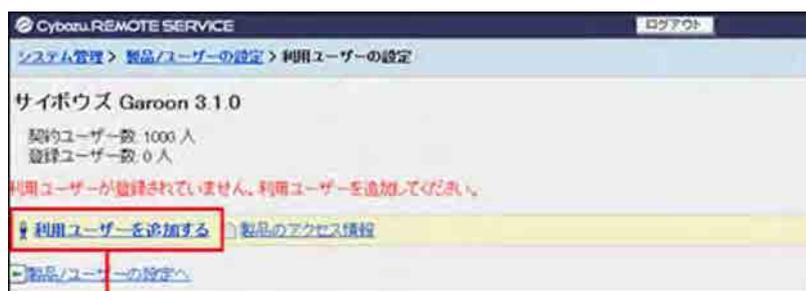
3 システム管理者として製品にログインする

製品にログインする必要がない場合は、この手順は省略されます。手順4に進みます。
ログイン方法は、製品での設定により異なります。

4  [利用ユーザーを追加する](#) をクリックする

すでに利用ユーザーが登録されている場合は、利用ユーザーに登録されている人数や利用ユーザー名を確認できます。

▣ [「利用ユーザーの設定」画面の見かた](#)



クリック

5 追加するユーザーを選択し、追加する をクリックする

左のリストからグループを選択したあと、追加するユーザーを選択して、**↓候補** をクリックし、**追加する** をクリックします。所属ユーザー一覧の右上に検索欄が表示されている場合は、キーワードを入力し、候補のユーザーを検索できます。

候補に追加したユーザーを削除する場合、候補の中から削除するユーザーを選択して、**↑削除** をクリックします。

6 追加された内容を確認する

引き続き、**利用ユーザーにアクセス情報を連絡する** をクリックし、製品を利用するユーザーにアクセス情報を連絡します。

▶ [アクセス情報をユーザーに連絡する](#)

利用ユーザーを追加する場合は、**さらに利用ユーザーを追加する** をクリックし、手順5からの操作を繰り返します。

利用ユーザーを削除する

利用ユーザーを削除する方法を説明します。



注意 ● KUNAI Lite for BlackBerry(R)を利用している場合は、利用ユーザーを削除すると、KUNAI Lite for BlackBerry(R)をインストールしているBlackBerry端末内の次のデータも削除されます。

- スケジュールのすべてのデータ
- アドレス帳のすべてのデータ
- メールアプリのメールデータ



補足 ● 製品側でユーザーを削除してもリモートサービスマネージャーには反映されません。製品側でユーザーを削除した場合は、リモートサービスマネージャー側でもユーザーを削除する必要があります。

1 「利用ユーザーの設定」画面を表示する

▶ [利用ユーザーを追加する](#)の手順1～3

2 削除するユーザーにチェックを入れ、利用ユーザーから外す をクリックする

ユーザーを検索する場合は、画面右上の検索欄にキーワードを入力し、候補のユーザーを検索します。

3 利用ユーザーから外す場合は、解除する をクリックする

携帯電話からのアクセス

クライアント証明書を管理する

クライアント証明書を管理する方法を説明します。

リモートサービスのセキュアアクセスオプションが有効な場合、リモートサービスマネージャーでは次の証明書を管理します。

- マスターのクライアント証明書：
サイボウズ株式会社が発行する証明書です。ライセンス情報やリモートIDを含みます。すべての利用製品にアクセスできます。
- ユーザー発行クライアント証明書：
システム管理者が発行するクライアント証明書です。ライセンス情報は含みません。各証明書でアクセスを許可する製品や利用期限を設定できるため、用途に合わせて、ユーザーに証明書を配布すると便利です。
例)
 - 派遣社員のグループ：
利用期限が1年間で、かつ製品Aと製品Dへのアクセスを許可する証明書を配布する。
 - 部長以上のグループ：
利用期限が2年間で、かつすべての製品へのアクセスを許可する証明書を配布する。



注意

- クライアント証明書の管理機能は、リモートサービスのセキュアアクセスオプションが有効な場合に使用できます。
ただし、証明書のステータスの変更は、リモートサービスのセキュアアクセスオプションが無効な場合でも設定できます。

- ▼ [証明書を発行する](#)
- ▼ [証明書を変更する](#)
- ▼ [証明書のステータスを変更する](#)
- ▼ [利用する証明書を設定する](#)
- ▼ [証明書を削除する](#)

証明書を発行する

ユーザー発行クライアント証明書を発行する方法を説明します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [クライアント証明書の管理](#)の順にクリックする
- 2 ユーザー発行クライアント証明書の欄で、 [発行する](#)をクリックする
- 3 必要な項目を設定し、[発行する](#)をクリックする
設定する項目は、次のとおりです。
 - 証明書名
 - フレンドリー名
 - ▶ [フレンドリー名とは](#)
 - 利用期限
 - アクセスを許可する製品

3 ● 備考

+補足

● フレンドリー名とは

ユーザー発行クライアント証明書を区別するための文字列です。リモートサービスにアクセスすると、利用している証明書のフレンドリー名がWebブラウザーに表示されます。Webブラウザーの種類によっては、フレンドリー名が表示されません。

● フレンドリー名の制限事項

設定したフレンドリー名は変更できません。使用できる文字は、次のとおりです。

- 半角スペースと「a-z、A-Z、0-9、'、+、-、:、,、.、?、()」

証明書を変更する

ユーザー発行クライアント証明書を変更する方法を説明します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **クライアント証明書の管理**の順にクリックする
- 2 変更する証明書を選択する
- 3  **変更する**をクリックする
- 4 必要な項目を設定し、**変更する** をクリックする
設定する項目は、次のとおりです。
 - 証明書名
 - 利用期限
 - アクセスを許可する製品
 - 備考

証明書のステータスを変更する

マスターのクライアント証明書とユーザー発行クライアント証明書のステータスを変更する方法を説明します。証明書を無効にすると、その証明書を使用するユーザーは利用製品にアクセスできません。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **クライアント証明書の管理**の順にクリックする
- 2 変更する証明書を選択する
- 3  **有効にする**をクリックする
証明書を無効にする場合は、 **無効にする** をクリックします。
- 4 証明書を有効にする場合は、**有効にする** をクリックする
証明書を無効にする場合は、**無効にする** をクリックします。

利用する証明書を設定する

各製品で利用する証明書を設定する方法を説明します。

- 利用製品を追加したあとに、利用する証明書を設定する場合は、手順3から操作します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **製品/ユーザーの設定**の順にクリックする
- 2 利用する証明書を設定する製品を選択する
- 3  **利用する証明書を設定する**をクリックする
- 4 証明書一覧から、利用する証明書を選択し、**←追加** > **設定する**の順にクリックする
選択を解除する場合、証明書を選擇して、**→削除**をクリックします。

証明書を削除する

ユーザー発行クライアント証明書を削除する方法を説明します。

- +補足**
- マスターのクライアント証明書は削除できません。
 - 削除したユーザー発行クライアント証明書は、元に戻せません。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **クライアント証明書の管理**の順にクリックする
- 2 削除する証明書を選択する
- 3  **削除する**をクリックする
- 4 削除する証明書を確認し、**削除する**をクリックする

- ヒント**
- 次の画面からも、ユーザー発行クライアント証明書を削除できます。
 - 「クライアント証明書の管理」画面で、削除する証明書のチェックボックスにチェックを入れて、**削除する**をクリックする

携帯電話からのアクセス

アクセス情報をユーザーに連絡する

利用ユーザーに、利用製品のアクセス情報を連絡します。

- 次の情報を利用ユーザーに連絡します。
 - リモートアクセスURL(ケータイ)
- 利用ユーザーを追加したあとで、「製品情報の詳細」画面を表示した場合は、手順4から操作します。



- アクセス情報を連絡する前に、次の設定が完了していることを確認します。
 - 利用製品の登録
 - 利用ユーザーの登録
 - 利用する証明書の設定：リモートサービスのセキュアアクセスオプションが有効な場合に設定します。

1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) > [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする

2 該当する製品名を選択する

3 利用する証明書の [\[証明書の利用方法\]](#) をクリックする

お使いのライセンスによっては、複数の証明書が表示されます。

4 アクセス情報を確認する

「アクセス情報」タブで、リモートアクセスURL(ケータイ)を確認します

5 ユーザーに連絡する

E-mailなどを使用し、必要な情報をユーザーに連絡します。

「証明書の詳細」画面の「リモートサービスの利用方法」タブに記載されている内容を、ユーザーに連絡すると便利です。



- リモートサービスのバージョン2.0.xからバージョンアップした場合は、「製品情報の詳細」画面にケータイ用のログインURLが表示されない場合があります。その場合は、Attention.txtに記載されているURLを参照してください。

[▶ Attention.txtとは](#)

- 携帯電話からSSL通信を使ってアクセスする場合は、URLが次のように変更になります。
`https://remote2s.cybozu.co.jp/`

KUNAI for Windows phoneからのアクセス

KUNAI for Windows phoneを利用する場合に必要な、リモートサービスマネージャー側の設定や操作について説明します。



- 初期設定時にリモートサービスを試用するサービスとして選択していない場合は、最初にリモートサービスの試用を開始します。

[▶ サービスの試用を開始する](#)

導入ガイド

[📄 KUNAI for Windows phoneの導入ガイド](#)

運用管理

- ▶ [利用製品を管理する](#)
 - ▣ [利用製品を追加する](#)
 - ▣ [利用製品を更新する](#)
 - ▣ [利用製品を削除する](#)
- ▶ [利用ユーザーを管理する](#)
 - ▣ [利用ユーザーを追加する](#)
 - ▣ [利用ユーザーを削除する](#)
- ▶ [KUNAI for Windows phoneを管理する](#)
 - ▣ [KUNAI for Windows phoneをインストールする](#)
 - ▣ [KUNAI for Windows phoneの利用を停止する](#)
 - ▣ [KUNAI for Windows phoneをバージョンアップする](#)
- ▶ [利用端末を管理する](#)
 - ▣ [利用端末を追加する](#)
 - ▣ [利用端末を変更する](#)
 - ▣ [利用端末を削除する](#)
 - ▣ [利用端末を初期化する](#)
 - ▣ [利用ユーザーを切り替える](#)
 - ▣ [未登録のSIMカードの使用を許可する](#)
 - ▣ [端末情報をCSVファイルで管理する](#)
- ▶ [利用端末を制御する](#)
 - ▣ [セキュリティポリシーとは](#)
 - ▣ [セキュリティポリシーを追加する](#)
 - ▣ [セキュリティポリシーを変更する](#)
 - ▣ [セキュリティポリシーを削除する](#)
 - ▣ [利用端末のセキュリティポリシーを変更する](#)
 - ▣ [制御するソフトウェアの設定する](#)

KUNAI for Windows phoneからのアクセス

利用製品を管理する

利用するサイボウズ製品を、リモートサービスマネージャーで管理します。

- ▣ [利用製品を追加する](#)
- ▣ [利用製品を更新する](#)
- ▣ [利用製品を削除する](#)

利用製品を追加する

利用製品を追加する方法を説明します。

- 利用ユーザーや利用端末を登録する前に、利用製品を追加します。



- サイボウズ製品だけを利用製品に追加できます。
- 複数のサイボウズ製品をKUNAIの利用製品に登録できません。

- 1** リモートサービスマネージャーで、[MDMオプションの運用管理](#) > [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする
- 2** 製品のアクセスURLを入力し、**追加する** をクリックする
[製品のアクセスURLの注意点について](#)
- 3** 追加された内容を確認する
引き続き、利用ユーザーを追加する場合は、**利用ユーザーの設定へ** をクリックし、製品を利用するユーザーを追加します。
[利用ユーザーを追加する](#)の手順3に進みます。

利用製品を更新する

登録されている利用製品の製品情報を更新する方法を説明します。

- 次の場合、利用製品の製品情報を更新します。
 - 利用製品をバージョンアップした場合
- 利用ユーザーの設定は、製品情報を更新しても、変更する必要はありません。

- 1** リモートサービスマネージャーで、[MDMオプションの運用管理](#) > [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする
- 2** [製品情報を更新する](#) をクリックする
- 3** 製品のアクセスURLを入力し、**更新する** をクリックする
[製品のアクセスURLの注意点について](#)

利用製品を削除する

利用製品を削除する方法を説明します。



注意

- 利用製品を削除すると、利用ユーザーや利用端末の設定が削除され、リモートサービスマネージャーで端末を管理できなくなります。利用製品を削除する前に、端末を初期化してください。

[▶ 利用端末を初期化する](#)

- **リモートサービス バージョン 2.2.2以前を使用している場合**

利用製品を削除すると、その製品に設定されている利用ユーザーや利用端末の設定が削除され、端末がハードリセットされます。

[▶ 端末のハードリセットを防ぐ方法](#)

1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **製品/ユーザーの設定**の順にクリックする

2  **削除する** をクリックする

3 削除する場合は、**削除する** をクリックする

KUNAI for Windows phoneからのアクセス

利用ユーザーを管理する

KUNAI for Windows phoneから製品に接続できるユーザーを、リモートサービスマネージャーで管理します。



注意 ● 利用ユーザーを登録する前に、次の設定が完了していることを確認します。

- 利用製品の登録



補足 ● 利用ユーザーの設定時に、製品のシステム管理者のユーザー名とパスワードを入力する画面が表示される場合があります。サイボウズ共通認証が設定されている場合でも、システム管理者として製品にログインする必要があります。

▣ [利用ユーザーを追加する](#)

▣ [利用ユーザーを削除する](#)

利用ユーザーを追加する

利用ユーザーを追加する方法を説明します。

- 利用製品を追加したあとに、引き続きユーザーを追加する場合は、手順2から操作します。

1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** > **製品/ユーザーの設定**の順にクリックする

2 システム管理者として製品にログインする

製品にログインする必要がない場合は、この手順は省略されます。手順3に進みます。
ログイン方法は、製品での設定により異なります。

3 **利用ユーザーを追加する** をクリックする

すでに利用ユーザーが登録されている場合は、利用ユーザーに登録されている人数や利用ユーザー名を確認できません。

▣ [「利用ユーザーの設定」画面の見かた](#)

4 追加するユーザーを選択し、**追加する** をクリックする

左のリストからグループを選択したあと、追加するユーザーを選択して、**↓候補** をクリックし、**追加する** をクリックします。

所属ユーザー一覧の右上に検索欄が表示されている場合は、キーワードを入力し、候補のユーザーを検索できます。

候補に追加したユーザーを削除する場合、候補の中から削除するユーザーを選択して、**↑削除** をクリックします。

5 追加された内容を確認する

引き続き、**利用手順の案内へ** をクリックし、利用端末にKUNAI for Windows phoneをインストールします。

▣ [KUNAI for Windows phoneをインストールする](#)

すでに利用端末にKUNAI for Windows phoneをインストールしている場合は、**利用端末の管理へ** をクリックし、利用端末を追加します。

▣ [利用端末を追加する](#)

利用ユーザーを追加する場合は、**さらに利用ユーザーを追加する** をクリックし、手順4からの操作を繰り返しま

5] す。



● 次の画面からも、「利用ユーザーの設定」画面を表示できます。

- 「製品/ユーザーの設定(MDMオプション)」画面で、 **利用ユーザーを設定する** をクリックする

利用ユーザーを削除する

利用ユーザーを削除する方法を説明します。



注意

- 利用ユーザーを削除すると、利用端末の設定が削除され、リモートサービスマネージャーで端末を管理できなくなります。利用ユーザーを削除する前に、端末を初期化してください。

[▶ 利用端末を初期化する](#)

- **リモートサービス バージョン 2.2.2以前を使用している場合**

利用ユーザーを削除すると、その製品に設定されている利用端末の設定が削除され、端末がハードリセットされます。

[▶ 端末のハードリセットを防ぐ方法](#)



補足

- 製品側でユーザーを削除してもリモートサービスマネージャーには反映されません。製品側でユーザーを削除した場合は、リモートサービスマネージャー側でもユーザーを削除します。

1 「利用ユーザーの設定」画面を表示する

[▶ 利用ユーザーを追加する](#)の手順1~3

2 削除するユーザーにチェックを入れ、**利用ユーザーから削除する** をクリックする

ユーザーを検索する場合は、画面右上の検索欄にキーワードを入力し、候補のユーザーを検索します。

3 利用ユーザーから外す場合は、**解除する** をクリックする

KUNAI for Windows phoneからのアクセス

KUNAI for Windows phoneを管理する

利用端末にインストールするKUNAI for Windows phoneを管理します。

- ▼ [KUNAI for Windows phoneをインストールする](#)
- ▼ [KUNAI for Windows phoneの利用を停止する](#)
- ▼ [KUNAI for Windows phoneをバージョンアップする](#)

KUNAI for Windows phoneをインストールする

利用端末にKUNAI for Windows phoneをインストールする方法を説明します。

- E-mailなどを使用して、利用端末にKUNAI for Windows phoneのインストーラーを配布します。
- 利用ユーザーを追加したあとに、引き続きKUNAI for Windows phoneをインストールする場合は、手順3から操作します。



- 端末にKUNAI for Windows phoneをインストールする前に、次の設定が完了していることを確認します。
 - 利用製品の登録
 - 利用ユーザーの登録
- 現在利用中のリモートサービスマネージャーが対応していないKUNAI for Windows phoneはダウンロードできません。
最新のKUNAI for Windows phoneをダウンロードする場合は、はじめにリモートサービスマネージャーをバージョンアップします。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** > **利用端末の管理**の順にクリックする
- 2 **利用手順の案内**をクリックする
- 3 「Windows phone」タブをクリックし、 **KUNAIをダウンロードする**をクリックする
- 4 ダウンロードするKUNAI for Windows phoneのバージョンを選択し、**KUNAIをダウンロードする**をクリックする
- 5 **ファイルを保存する**
表示される画面にしたがって、ファイルをパソコンに保存します。
- 6 **インストーラーを利用端末に配布する**
手順5でダウンロードしたインストーラーを、E-mailなどを使用して利用端末に配布します。
- 7 **端末にKUNAI for Windows phoneをインストールする**
 KUNAI for Windows phoneの[KUNAI for Windows phone をインストールする](#)



- KUNAI for Windows phoneは、次の画面からもダウンロードできます。
 - 「製品／ユーザーの設定(MDMオプション)」画面で、 **利用手順の案内**をクリックする

KUNAI for Windows phoneの利用を停止する

端末にインストールされているKUNAI for Windows phoneの利用を一時的に停止する方法を説明します。

- 利用を停止された端末では、データをシンクできません。



注意

- KUNAI for Windows phoneの利用を停止すると、リモートサービスマネージャーで端末の管理ができなくなります。利用を停止する前に、端末を初期化してください。

[▶ 利用端末を初期化する](#)

1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** > **利用端末の管理**の順にクリックする

2 利用を停止する端末を選択する

端末識別番号一覧のWindows phoneまたはユーザー一覧から、Windows phone端末を選択できます。

3 **利用を停止する**をクリックする

4 利用を停止する場合は、**利用を停止する** をクリックする



ヒント

- 次の画面からも、KUNAI for Windows phoneの利用を停止できます。

- 「利用端末の管理」画面で、停止する端末のチェックボックスにチェックを入れて、**利用を停止する** をクリックする



補足

- **KUNAI for Windows phoneの利用を再開する方法**

利用を停止した端末は、「利用端末の管理」画面で利用登録待ち端末の一覧に表示されます。KUNAI for Windows phoneの利用を再開する場合は、端末の個人設定でデータをリセットし、再度リモートサービスマネージャーで、利用を停止した端末に、ユーザーを登録する必要があります。

KUNAI for Windows phoneをバージョンアップする

利用端末にインストールされているKUNAI for Windows phoneをバージョンアップする方法を説明します。

- リモートサービスマネージャーを使って、各端末にKUNAI for Windows phoneを配布します。



注意

- 利用ユーザーの登録が完了していない端末には、KUNAI for Windows phoneを配布できません。

1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** > **利用端末の管理**の順にクリックする

2 「端末識別番号一覧」でWindows phoneを選択し、 **KUNAIをバージョンアップする** をクリックする

3 必要な項目を設定し、**配布する** をクリックする

指定した端末に、選択したバージョンのKUNAI for Windows phoneが配布されます。

■ KUNAI for Windows phoneのバージョンアップの設定項目

「*」は必須項目です。

項目	説明
----	----

3	KUNAIのバージョン	バージョンアップするKUNAI for Windows phoneのバージョンを選択します。 現在インストールされているKUNAI for Windows phoneより古いバージョンも選択できます。
	端末	バージョンアップする利用端末を選択します。

4 ユーザーに連絡する

利用ユーザーにKUNAI for Windows phoneのバージョンアップが必要な旨を連絡します。
バージョンアップ用のKUNAI for Windows phoneは、各端末が次回シンクするときに配布されます。

5 端末のKUNAI for Windows phoneがバージョンアップされたことを確認する

KUNAI for Windows phoneがバージョンアップされると、「利用端末の管理」画面で、利用状況欄の  が  に変わります。

 [「利用端末の管理」画面の見かた](#)



● 次の画面からも、利用端末をバージョンアップできます。

- 「利用端末の管理」画面で、バージョンアップする端末のチェックボックスにチェックを入れて、 KUNAIをバージョンアップする をクリックする
- 「利用端末の変更」画面で、KUNAIのバージョンを変更する

KUNAI for Windows phoneからのアクセス

利用端末を管理する

KUNAI for Windows phoneを利用する端末を、リモートサービスマネージャーで管理します。



注意

- 利用ユーザーを登録する前に、次の設定が完了していることを確認します。
 - 利用製品の登録
 - 利用製品の選択
 - 端末へのKUNAI for Windows phoneのインストール
- SIMカードを入れ替えて複数のユーザーで1台のKUNAI for Windows phone端末を利用したり、一人のユーザーが複数の端末でKUNAI for Windows phoneを利用したりできます。



補足

- KUNAI for Windows phoneを使用すると、端末ごとにセキュリティポリシーを設定できます。使用できるソフトウェアを制限したり、KUNAI for Windows phoneのアンインストールを許可するかどうかを設定したりできます。
 - ▶ [利用端末を制御する](#)

- ▶ [利用端末を追加する](#)
- ▶ [利用端末を変更する](#)
- ▶ [利用端末を削除する](#)
- ▶ [利用端末を初期化する](#)
- ▶ [利用ユーザーを切り替える](#)
- ▶ [未登録SIMカードの使用を許可する](#)
- ▶ [端末情報をCSVファイルで管理する](#)

利用端末を追加する

利用端末を追加する方法を説明します。

- 利用ユーザーを追加したあとに、引き続き端末を追加する場合は、手順2から操作します。



注意 ● 利用端末の管理は、利用端末の追加時に入力する端末識別番号を元に管理します。入力する端末識別番号に誤りがないように注意してください。端末識別番号が間違っていると、KUNAI for Windows phoneを使用できません。



補足 ● CSVファイルを使って利用端末を追加できます。
▶ [端末情報をCSVファイルで管理する](#)

1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** > **利用端末の管理**の順にクリックする

2 **利用端末を追加する**をクリックする

すでに利用端末が登録されている場合は、登録されている端末数や利用端末のシンク状況を確認できます。

▶ [「利用端末の管理」画面の見かた](#)

3 必要な項目を入力し、**追加する**をクリックする

▶ **利用端末の設定項目**

「*」は必須項目です。

項目	説明
端末識別番号	利用端末の電話番号を入力します。 一度設定すると変更できません。
メールアドレス	利用端末のメールアドレスを入力します。
備考	利用端末の備考を入力します。
利用ユーザー	利用ユーザーは、初回ログイン時に自動的に登録されます。 ここで表示されるユーザーがこの利用端末でKUNAI for Windows phoneを使用できます。

設定されるセキュリティポリシーを初期値から変更する場合は、 **セキュリティポリシーを設定する** をクリックします。

▶ [利用端末を制御する](#)

4 **ユーザーに端末を配布する**

次の設定が完了していることを確認し、利用ユーザーにWindows phone端末を配布します。

- 利用製品の設定
- 利用ユーザーの設定
- 端末へのKUNAI for Windows phoneのインストール

引き続き、利用端末を追加する場合は、**利用端末を追加する** をクリックし、手順3からの操作を繰り返します。
利用ユーザーを追加していない場合は、**利用ユーザーの設定へ** をクリックし、利用ユーザーを追加します。

▶ [利用ユーザーを追加する](#)

利用端末を変更する

登録されている利用端末の端末情報を変更する方法を説明します。

- 変更できる項目は、次のとおりです。
 - メールアドレス
 - 備考
 - KUNAIのバージョン

1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **利用端末の管理**の順に
クリックする

2 変更する端末を選択する

端末識別番号一覧のWindows phoneまたはユーザー一覧から、Windows phone端末を選択できます。

3  **変更する**をクリックする

4 必要な情報を変更し、 **変更する** をクリックする

 [利用端末の設定項目](#)

端末にインストールされているKUNAIのバージョンを変更するには、「KUNAIのバージョン」欄でKUNAIのバージョンを変更します。

 [KUNAI for Windows phoneをバージョンアップする](#)



- 端末情報に登録されている機種名は、シンク時に最新の情報に更新されます。

利用端末を削除する

登録されている利用端末を削除する方法を説明します。



- 利用ユーザーが登録されている端末は削除できません。利用ユーザーが登録されている端末を削除する場合は、はじめに端末の利用を停止し、端末を利用登録待ち状態にしてから削除してください。

 [KUNAI for Windows phoneの利用を停止する](#)

1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **利用端末の管理**の順に
クリックする

2 「利用登録待ち端末」一覧から、削除する端末を選択する

3  **削除する**をクリックする

4 削除する場合は、 **削除する** をクリックする



- 次の画面からも、利用端末を削除できます。

- 「利用端末の管理」画面で、削除する端末のチェックボックスにチェックを入れて、 **削除する** をクリックする

利用端末を初期化する

登録されている利用端末の端末情報を初期化する方法を説明します。





- 利用端末を初期化すると、端末がハードリセットされ、KUNAIの利用を停止します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、[MDMオプションの運用管理](#) >  [利用端末の管理](#) の順にクリックする
- 2 初期化する端末を選択する
端末識別番号一覧のWindows phoneまたはユーザー一覧から、Windows phone端末を選択できます。
- 3  [端末を初期化する](#) をクリックする
- 4 初期化の場合は、 をクリックする
- 5 「[利用端末の管理](#)」画面で、[端末が初期化されたことを確認する](#)
初期化された端末は、「[利用端末の管理](#)」画面で利用登録待ち端末の一覧に表示されます。



- 次の画面からも、利用端末を初期化できます。
 - 「[利用端末の管理](#)」画面で、初期化する端末のチェックボックスにチェックを入れて、 をクリックする

利用ユーザーを切り替える

端末の利用ユーザーを変更する方法を説明します。

- 1 KUNAI for Windows phoneの利用を停止する
 - ▶ [KUNAI for Windows phoneの利用を停止する](#)端末を初期化する場合は、利用端末を初期化し、手順3に進みます。
 - ▶ [利用端末を初期化する](#)
- 2 KUNAI for Windows phoneの個人設定でデータをリセットする
 - ▶ [KUNAI for Windows phoneのデータをリセットする](#)
- 3 利用ユーザーに、新しいユーザーを追加する
 - ▶ [利用ユーザーを追加する](#)
- 4 KUNAI for Windows phoneの初期設定で新しいユーザーで登録する
 - ▶ [KUNAI for Windows phoneのKUNAI for Windows phoneをインストールする](#)

未登録SIMカードの使用を許可する

すでに登録されている端末で、未登録のSIMカードの使用を許可するかどうかを設定します。

- 未登録のSIMカードの使用を許可された端末は、リモートサービスマネージャーで利用端末の登録をしなくてもKUNAI for Windows phoneの利用を開始できます。海外でSIMカードを入手し、管理者に連絡せずにKUNAI for Windows phoneを使用する場合などに便利です。

- 1 リモートサービスマネージャーで、[MDMオプションの運用管理](#) >  [利用端末の管理](#) の順にクリックする
- 2 [設定を変更する端末を選択する](#)
端末識別番号一覧のWindows phoneまたはユーザー一覧から、Windows phone端末を選択できます。

3  **未登録のSIMカードの使用設定** をクリックする

4 未登録SIMカードの使用を許可する場合は、「未登録のSIMカードの使用を許可する」に
チェックを入れ、 **設定する** をクリックする

未登録のSIMカードの使用を許可する期間を指定する場合は、メニューから日時を選択し、期間を設定します。

端末情報をCSVファイルで管理する

登録されている利用端末の端末情報をCSVファイルに書き出したり、CSVファイルから端末情報を読み込んだりします。

- [端末情報をCSVファイルから読み込む](#)
- [端末情報をCSVファイルに書き出す](#)

端末情報をCSVファイルから読み込む

端末情報をCSVファイルから、リモートサービスマネージャーに読み込む手順を説明します。



● 端末情報を読み込む際の注意

- 端末識別番号は必須項目です。
- 端末識別番号が現在登録されている端末識別番号と一致する場合、端末情報が更新されます。それ以外の場合は、新規に端末情報が追加されます。CSVファイルの編集時に、端末識別番号の先頭から"0"が削除されていないことを確認します。
- 利用登録待ち端末の端末情報を削除する場合は、削除フラグに"1"を設定します。
- セキュリティポリシーが指定されていない端末には、自動的に「セキュリティ(中)」が適用されます。

1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** > **利用端末の管理**の順にクリックする

2 **端末情報をCSVファイルから読み込む**をクリックする

3 ファイル欄の **参照** をクリックして、読み込むCSVファイルを選択し、**次へ** をクリックする

■ 利用端末データ読み込みの設定項目

「*」は必須項目です。

項目	説明
ファイル	読み込むCSVファイルを選択します。
文字コード	文字コードを切り替える場合は、ドロップダウンリストから文字コードを選択します。
先頭行をスキップする	読み込むCSVファイルの先頭行をスキップする場合は、「はい」にチェックを入れます。

4 内容を確認し、**読み込む** をクリックする

セキュリティポリシーが変更された場合、セキュリティ設定が端末にシンクされます。

端末情報をCSVファイルに書き出す

リモートサービスマネージャーの端末情報をCSVファイルに書き出す手順を説明します。

1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** > **利用端末の管理**の順にクリックする

2 **端末情報をCSVファイルへ書き出す**をクリックする

3 必要な項目を設定し、**書き出す** をクリックする

■ 利用端末データ書き出しの設定項目

「*」は必須項目です。

項目	説明
----	----

3	文字コード	文字コードを切り替える場合は、ドロップダウンリストから文字コードを選択します。
	先頭行に項目名を書き出す	CSVファイルの先頭行に項目名を書き出す場合は、「はい」にチェックを入れます。

4 **ファイルを保存する**

表示される画面にしたがって、ファイルを保存します。

KUNAI for Windows phoneからのアクセス

利用端末を制御する

セキュリティポリシーを設定し、Windows phone端末でできる操作を制御します。

- ▣ [セキュリティポリシーとは](#)
- ▣ [セキュリティポリシーを追加する](#)
- ▣ [セキュリティポリシーを変更する](#)
- ▣ [セキュリティポリシーを削除する](#)
- ▣ [利用端末のセキュリティポリシーを変更する](#)
- ▣ [制御するソフトウェアを設定する](#)

セキュリティポリシーとは

セキュリティポリシーとは、各端末の情報セキュリティに関する基本方針を設定する機能です。

- リモートサービスマネージャーから各端末で使用できるソフトウェアを制限したり、KUNAI for Windows phoneのアンインストールを許可するかどうかを設定したりできます。
- 次のセキュリティポリシーがあらかじめ登録されています。これらのセキュリティポリシーは、変更または削除できません。
 - セキュリティ(強)
 - セキュリティ(中)
 - セキュリティ(弱)
 - 海外ローミングポリシー

セキュリティポリシーを追加する

セキュリティポリシーを追加する方法を説明します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **利用端末の管理**の順にクリックする
- 2 「端末識別番号一覧」のWindows phoneを選択し、 **セキュリティポリシーを設定する**をクリックする
- 3  **セキュリティポリシーを追加する**をクリックする
- 4 必要な項目を設定し、**追加する**をクリックする

■ セキュリティポリシーの設定項目

「*」は必須項目です。

項目	説明
ポリシー名	セキュリティポリシーの名称を設定します。 重複したポリシー名は設定できません。

4

パスワードによる制限	端末の起動時に専用の「ログイン」画面を表示するかどうかを設定します。 <input type="checkbox"/> 専用のログイン画面について
使用制限	使用を禁止するデバイスや、使用を許可または禁止するソフトウェアを設定します。 登録されているソフトウェアのほかに制御するソフトウェアの登録もできます。 <input type="checkbox"/> 制御できるデバイスやソフトウェア <input type="checkbox"/> 制御するソフトウェアを設定する
自動シンク	定期的に自動シンクするかどうかを設定します。 自動シンクする間隔やシンクする時間を指定できます。
緊急時の初期化	緊急時に、利用端末を初期化するかどうかを設定します。 指定した回数ログイン操作に失敗したり、指定した電話番号から着信した場合に利用端末を初期化できます。
KUNAIのアンインストール	利用端末からKUNAI for Windows phoneのアンインストールを許可するかどうかを設定します。



- 次の画面からも、セキュリティポリシーを追加できます。
 - 「セキュリティポリシーの詳細」画面で、 **再利用する** をクリックする



- **制御できるデバイスやソフトウェア**
次のデバイスやソフトウェアの使用を制御できます。

制御できるデバイス

メモリーカード	カメラ	USB	Bluetooth
無線LAN	タッチパネル	音	電話
ActiveSync(USB接続)	ActiveSync(すべて)	電話発着信履歴取得	

制御できるソフトウェア

仕事	予定表	連絡先	メモ
電卓	Word Mobile	Excel Mobile	PowerPoint Mobile
NAVITIME	AdobeReaderLE	OneNote Mobile	ボイスレコーダー
伝言メモ	クイックGPS	ボイス短縮ダイヤル	メール
Softbankメール	Messenger	WindowsLive	Internet Explorer
Opera	NetFront	RSS Hub	画像とビデオ
WindowsMedia	FM Radio	カメラアルバム	ストリーミングメディア

MP3 Trimmer	Youtube	オーディオブースター	ファイルエクスプローラ
セキュリティスキャン	タスクマネージャー	Java	リモートデスクトップ
CommManager	SIMマネージャ	TouchFLO 3D	ストレージクリア
Symantec AntiVirus	WalkingHotSpot	検索	ヘルプ
Marketplace	NetFrontWidgetsPlayer	PhotoBase	VideoEditor
いつもNAVI	電子辞典	Kinoma	電話帳コピーツール
iモード.net	moperaU設定	My Phone	その他のソフトウェア

● **専用のログイン画面について**

パスワードによる制限で、「起動時にパスワードを要求する」にチェックを入れると、端末の起動時にパスワードの入力画面を表示できます。あわせて、「緊急時の初期化」でパスワード入力の失敗回数の設定もできます。指定した回数以上にパスワード入力に失敗すると、端末を自動的に初期化します。

 [KUNAI for Windows phoneの端末のログイン画面について](#)

セキュリティポリシーを変更する

登録されているセキュリティポリシーの内容を変更する方法を説明します。

1 「セキュリティポリシーの設定」画面を表示する

 [セキュリティポリシーを追加する](#) の手順1~2

2 設定を変更するセキュリティポリシーを選択する

3  変更する をクリックする

4 必要な項目を変更し、 **変更する をクリックする**

 [セキュリティポリシーの設定項目](#)



● 端末に設定されているセキュリティポリシーを変更すると、利用端末に変更内容がシンクされます。利用端末のセキュリティ設定が変更されたかどうかは、「利用端末の管理」画面で確認できます。端末のセキュリティ設定が変更されると、利用状況欄の  が  に変わります。

セキュリティポリシーを削除する

登録されているセキュリティポリシーを削除する方法を説明します。



● 設定されているセキュリティポリシーが削除されたあと、利用端末に変更内容がシンクされると、「セキュリティ(中)」が設定されます。

1 「セキュリティポリシーの設定」画面を表示する

 [セキュリティポリシーを追加する](#) の手順1~2

2 削除するセキュリティポリシーを選択する

3  **削除する** をクリックする

4 削除する場合は、 **削除する** をクリックする

+補足 ● 端末に設定されているセキュリティポリシーを削除すると、利用端末に変更内容がシンクされます。利用端末のセキュリティ設定が変更されたかどうかは、「利用端末の管理」画面で確認できます。端末のセキュリティ設定が変更されると、利用状況欄の  が  に変わります。

利用端末のセキュリティポリシーを変更する

利用端末のセキュリティポリシーを変更する方法を説明します。

1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **利用端末の管理** の順にクリックする

2 セキュリティポリシーを変更する端末を選択する

端末識別番号一覧のWindows phoneまたはユーザー一覧から、Windows phone端末を選択できます。

3  **セキュリティポリシーの設定** をクリックする

4 セキュリティポリシーのドロップダウンリストから、変更するポリシー名を選択し、 **設定する** をクリックする

+補足 ● セキュリティポリシーの設定を変更すると、利用端末に変更内容がシンクされます。利用端末のセキュリティ設定が変更されたかどうかは、「利用端末の管理」画面で確認できます。端末のセキュリティ設定が変更されると、利用状況欄の  が  に変わります。

制御するソフトウェアを設定する

あらかじめ設定されているソフトウェアに、制御するソフトウェアを追加する方法を説明します。

- 設定したソフトウェアは、セキュリティポリシーの端末デバイス制御で使用を制御できます。

1 「セキュリティポリシーの設定」画面を表示する

 [セキュリティポリシーを追加する](#)の手順1~2

2 **制限するソフトウェアを設定する** をクリックする

3 必要な項目を設定する

 その他のソフトウェアの操作項目

項目	リンク	説明
追加	 追加する	制御するソフトウェアを追加します。
変更	 変更する	制御するソフトウェアを変更します。
削除	 削除する	制御するソフトウェアを削除します。

 **ヒント**

- 次の画面からも、ソフトウェアを削除できます。
 - 「制限するソフトウェアの設定」画面で、削除するソフトウェアのチェックボックスにチェックを入れて、**削除する** をクリックする

+補足

- その他のソフトウェアを設定すると、「セキュリティポリシーの追加/変更」画面に追加したソフトウェアが表示されます。



- その他のソフトウェアを変更または削除し、セキュリティポリシーの設定が変更された場合は、利用端末に変更内容がシンクされます。
利用端末のセキュリティ設定が変更されたかどうかは、「利用端末の管理」画面で確認できます。端末のセキュリティ設定が変更されると、利用状況欄の  が  に変わります。

KUNAI for BlackBerry(R) からのアクセス

KUNAI for BlackBerry(R)からのアクセス

KUNAI for BlackBerry(R)を利用する場合に必要な、リモートサービスマネージャー側の設定や操作について説明します。

- +補足**
- 初期設定時にリモートサービスを試用するサービスとして選択していない場合は、最初にリモートサービスの試用を開始します。
- ▶ [サービスの試用を開始する](#)

導入ガイド

- ▶ [KUNAI for BlackBerry\(R\)の導入ガイド](#)

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用する場合

リモートサービスマネージャーで管理された端末から製品にアクセスする場合のKUNAIの設定を説明します。クライアント証明書を利用せずに製品に直接アクセスします。

- ▶ [利用製品を管理する](#)
- ▶ [利用製品を追加する](#)
 - ▶ [利用製品を更新する](#)
 - ▶ [利用製品を削除する](#)
- ▶ [利用ユーザーを管理する](#)
- ▶ [利用ユーザーを追加する](#)
 - ▶ [利用ユーザーを削除する](#)
- ▶ [KUNAI for BlackBerry\(R\)を管理する](#)
- ▶ [KUNAI for BlackBerry\(R\)をインストールする](#)
 - ▶ [KUNAI for BlackBerry\(R\)の利用を停止する](#)
- ▶ [利用端末を管理する](#)
- ▶ [利用端末を追加する](#)
 - ▶ [利用端末を変更する](#)
 - ▶ [利用端末を削除する](#)
 - ▶ [利用端末を初期化する](#)
 - ▶ [利用ユーザーを切り替える](#)
 - ▶ [未登録のSIMカードの使用を許可する](#)
 - ▶ [端末情報をCSVファイルで管理する](#)

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用しない場合

クライアント証明書を利用して製品にアクセスする場合のKUNAI の設定を説明します。

- ▶ [利用製品を管理する](#)
- ▶ [利用製品を追加する](#)
 - ▶ [利用製品を更新する](#)
 - ▶ [利用製品を削除する](#)
- ▶ [利用ユーザーを管理する](#)
- ▶ [利用ユーザーを追加する](#)

- ▶ [利用ユーザーを削除する](#)
- ▶ [クライアント証明書を管理する](#)
 - ▶ [証明書を発行する](#)
 - ▶ [証明書を変更する](#)
 - ▶ [証明書のステータスを変更する](#)
 - ▶ [利用する証明書を設定する](#)
 - ▶ [証明書を削除する](#)
- ▶ [アクセス情報をユーザーに連絡する](#)

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用する場合

利用製品を管理する

利用するサイボウズ製品を、リモートサービスマネージャーで管理します。

- ▣ [利用製品を追加する](#)
- ▣ [利用製品を更新する](#)
- ▣ [利用製品を削除する](#)

利用製品を追加する

利用製品を追加する方法を説明します。

- 利用ユーザーや利用端末を登録する前に、利用製品を追加します。

- +補足**
- サイボウズ製品だけを利用製品に追加できます。
 - 複数のサイボウズ製品をKUNAIの利用製品に登録できません。

- 1** リモートサービスマネージャーで、[MDMオプションの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする
- 2** 製品のアクセスURLを入力し、**追加する** をクリックする
 - ▣ [製品のアクセスURLの注意点について](#)
- 3** 追加された内容を確認する
引き続き、利用ユーザーを追加する場合は、**利用ユーザーの設定へ** をクリックし、製品を利用するユーザーを追加します。
 - ▣ [利用ユーザーを追加する](#)の手順3に進みます。

利用製品を更新する

登録されている利用製品の製品情報を更新する方法を説明します。

- 次の場合、利用製品の製品情報を更新します。
 - 利用製品をバージョンアップした場合
- 利用ユーザーの設定は、製品情報を更新しても、変更する必要はありません。

- 1** リモートサービスマネージャーで、[MDMオプションの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする
- 2**  [製品情報を更新する](#) をクリックする
- 3** 製品のアクセスURLを入力し、**更新する** をクリックする
 - ▣ [製品のアクセスURLの注意点について](#)

利用製品を削除する

利用製品の削除方法を説明します。



注意

- 利用製品を削除すると、利用ユーザーや利用端末の設定が削除され、リモートサービスマネージャーで端末を管理できなくなります。利用製品を削除する前に、端末を初期化してください。

[▶ 利用端末を初期化する](#)

1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **製品/ユーザーの設定**の順にクリックする

2  **削除する** をクリックする

3 削除する場合は、**削除する** をクリックする

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用する場合

利用ユーザーを管理する

KUNAI for BlackBerry(R)からリモートサービスを経由して製品に接続できるユーザーを、リモートサービスマネージャーで管理します。



- 利用ユーザーを登録する前に、次の設定が完了していることを確認します。
 - 利用製品の登録



- 利用ユーザーの設定時に、製品のシステム管理者のユーザー名とパスワードを入力する画面が表示される場合があります。サイボウズ共通認証が設定されている場合でも、システム管理者として製品にログインする必要があります。

- ▣ [利用ユーザーを追加する](#)
- ▣ [利用ユーザーを削除する](#)

利用ユーザーを追加する

利用ユーザーを追加する方法を説明します。

- 利用製品を追加したあとに、引き続きユーザーを追加する場合は、手順2から操作します。

1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** > **製品/ユーザーの設定** > **利用ユーザーを設定する**の順にクリックする

2 システム管理者として製品にログインする

製品にログインする必要がない場合は、この手順は省略されます。手順3に進みます。
ログイン方法は、製品での設定により異なります。

3 **利用ユーザーを追加する**をクリックする

すでに利用ユーザーが登録されている場合は、利用ユーザーに登録されている人数や利用ユーザー名を確認できます。

▣ [「利用ユーザーの設定」画面の見かた](#)

4 追加するユーザーを選択し、**追加する**をクリックする

左のリストからグループを選択したあと、追加するユーザーを選択して、**↓候補** をクリックし、**追加する** をクリックします。

所属ユーザー一覧の右上に検索欄が表示されている場合は、キーワードを入力し、候補のユーザーを検索できます。

候補に追加したユーザーを削除する場合、候補の中から削除するユーザーを選択して、**↑削除** をクリックします。

5 追加された内容を確認する

引き続き、**利用手順の案内へ** をクリックし、利用端末にKUNAI for BlackBerry(R)をインストールします。

▣ [KUNAI for BlackBerry\(R\)をインストールする](#)

すでに利用端末にKUNAI for BlackBerry(R)をインストールしている場合は、**利用端末の管理へ** をクリックし、利用端末を追加します。

▣ [利用端末を追加する](#)

- 5 利用ユーザーを追加する場合は、 **さらに利用ユーザーを追加する** をクリックし、手順4からの操作を繰り返します。

- ヒント**
- 次の画面からも、「利用ユーザーの設定」画面を表示できます。
 - 「製品/ユーザーの設定(MDMオプション)」画面で、 **利用ユーザーを設定する** をクリックする

利用ユーザーを削除する

利用ユーザーを削除する方法を説明します。

- 注意**
- 利用ユーザーを削除すると、利用端末の設定が削除され、リモートサービスマネージャーで端末を管理できなくなります。利用ユーザーを削除する前に、端末を初期化してください。
 - ▶ [利用端末を初期化する](#)

- +補足**
- 製品側でユーザーを削除してもリモートサービスマネージャーには反映されません。製品側でユーザーを削除した場合は、リモートサービスマネージャー側でもユーザーを削除します。

1 「利用ユーザーの設定」画面を表示する

- ▶ [利用ユーザーを追加する](#)の手順1~3

2 削除するユーザーにチェックを入れ、 **利用ユーザーから削除する** をクリックする

ユーザーを検索する場合は、画面右上の検索欄にキーワードを入力し、候補のユーザーを検索します。

3 利用ユーザーから外す場合は、 **解除する** をクリックする

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用する場合

KUNAI for BlackBerry(R)を管理する

利用端末にインストールするKUNAI for BlackBerry(R)を管理します。

- ▼ [KUNAI for BlackBerry\(R\)をインストールする](#)
- ▼ [KUNAI for BlackBerry\(R\)の利用を停止する](#)

KUNAI for BlackBerry(R)をインストールする

利用端末にKUNAI for BlackBerry(R)をインストールする方法を説明します。

- 利用ユーザーを追加したあとに、引き続きKUNAI for BlackBerry(R)をインストールする場合は、手順3から操作します。

-  **注意**
- 端末にKUNAI for BlackBerry(R)をインストールする前に、次の設定が完了していることを確認します。
 - 利用製品の登録
 - 利用ユーザーの登録
 - 現在利用中のリモートサービスマネージャーが対応していないKUNAI for BlackBerry(R)はダウンロードできません。
最新のKUNAI for BlackBerry(R)をダウンロードする場合は、はじめにリモートサービスマネージャーをバージョンアップします。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **利用端末の管理**の順にクリックする
- 2  **利用手順の案内**をクリックする
- 3 「BlackBerry(R)」タブをクリックし、 **製品サイトへ**をクリックする
- 4 BlackBerry(R)端末にKUNAI for BlackBerry(R)をダウンロードする
[製品サイト](#) から、最新バージョンを入手します。
- 5 BlackBerry(R)端末にKUNAI for BlackBerry(R)をインストールして、端末識別番号を確認する
 KUNAI for BlackBerry(R)の[KUNAI for BlackBerry\(R\)をインストールする](#)

-  **ヒント**
- KUNAI for BlackBerry(R)は、次の画面からもダウンロードの手順を確認できます。
 - 「製品/ユーザーの設定(MDMオプション)」画面で、 **利用手順の案内**をクリックする

KUNAI for BlackBerry(R)の利用を停止する

端末にインストールされているKUNAI for BlackBerry(R)の利用を一時的に停止する方法を説明します。

- 利用を停止された端末では、データをシンクできません。

**注意**

- KUNAI for BlackBerry(R)の利用を停止すると、リモートサービスマネージャーで端末を管理できなくなります。利用を停止する前に、端末を初期化してください。

[▶ 利用端末を初期化する](#)

- 1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **利用端末の管理**の順にクリックする
- 2 利用を停止する端末を選択する
端末識別番号一覧のBlackBerry(R) またはユーザー一覧から、BlackBerry(R)端末を選択できます。
- 3  **利用を停止する**をクリックする
- 4 利用を停止する場合は、 **利用を停止する** をクリックする

**ヒント**

- 次の画面からも、KUNAI for BlackBerry(R)の利用を停止できます。

- 「利用端末の管理」画面で、停止する端末のチェックボックスにチェックを入れて、 **利用を停止する** をクリックする

**補足**

- **KUNAI for BlackBerry(R)の利用を再開する方法**

利用を停止した端末は、「利用端末の管理」画面で利用登録待ち端末の一覧に表示されます。KUNAI for BlackBerry(R)の利用を再開する場合は、端末の個人設定でデータをリセットし、再度リモートサービスマネージャーで利用を停止した端末に、ユーザーを登録する必要があります。

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用する場合

利用端末を管理する

KUNAI for BlackBerry(R)を利用する端末を、リモートサービスマネージャーで管理します。



- 利用ユーザーを登録する前に、次の設定が完了していることを確認します。
 - 利用製品の登録
 - 利用製品の選択
 - 端末へのKUNAI for BlackBerry(R)のインストール
 - KUNAIの使用許可
 - ▶ [KUNAIの使用を制限する](#)
- SIMカードを入れ替えて複数のユーザーで1台のKUNAI for BlackBerry(R)を利用したり、一人のユーザーが複数の端末でKUNAI for BlackBerry(R)を利用したりできます。

- ▶ [利用端末を追加する](#)
- ▶ [利用端末を変更する](#)
- ▶ [利用端末を削除する](#)
- ▶ [利用端末を初期化する](#)
- ▶ [利用ユーザーを切り替える](#)
- ▶ [未登録SIMカードの使用を許可する](#)
- ▶ [端末情報をCSVファイルで管理する](#)

利用端末を追加する

利用端末を追加する方法を説明します。

- 利用ユーザーを追加したあとに、引き続き端末を追加する場合は、手順2から操作します。



- 利用端末の管理は、利用端末の追加時に入力する端末識別番号を元に管理します。入力する端末識別番号に誤りがないように注意してください。端末識別番号が間違っていると、KUNAI for BlackBerry(R)を使用できません。



- CSVファイルを使って利用端末を追加できます。
 - ▶ [端末情報をCSVファイルで管理する](#)

- 1 リモートサービスマネージャーで、[MDMオプションの運用管理](#) > [利用端末の管理](#) の順にクリックする
- 2 [利用端末を追加する](#) をクリックする
 - ▶ [「利用端末の管理」画面の見かた](#)
- 3 必要な項目を入力し、[追加する](#) をクリックする
 - ▶ 利用端末の設定項目

項目	説明
端末識別番号	KUNAI for BlackBerry(R)のインストール完了画面に表示される、利用端末の端末識別番号を入力します。 一度設定すると変更できません。
メールアドレス	利用端末のメールアドレスを入力します。
備考	利用端末の備考を入力します。
利用ユーザー	利用ユーザーは、初回ログイン時に自動的に登録されます。 ここで表示されるユーザーがこの利用端末でKUNAI for BlackBerry(R)を使用できます。

4 ユーザーに端末を配布する

次の設定が完了していることを確認し、利用ユーザーにBlackBerry(R)端末を配布します。

- 利用製品の設定
- 利用ユーザーの設定
- 端末へのKUNAI for BlackBerry(R)のインストール

引き続き、利用端末を追加する場合は、[利用端末を追加する](#) をクリックし、手順3からの操作を繰り返します。
利用ユーザーを追加していない場合は、[利用ユーザーの設定へ](#) をクリックし、利用ユーザーを追加します。

[▶ 利用ユーザーを追加する](#)

利用端末を変更する

登録されている利用端末の端末情報を変更する方法を説明します。

- 変更できる項目は、次のとおりです。
 - メールアドレス
 - 備考
 - KUNAIのバージョン

1 リモートサービスマネージャーで、[MDMオプションの運用管理](#) >  [利用端末の管理](#)の順にクリックする

2 変更する端末を選択する

端末識別番号一覧のBlackBerry(R)またはユーザー一覧から、BlackBerry(R)端末を、選択できます。

3  [変更する](#) をクリックする

4 必要な情報を変更し、[変更する](#) をクリックする

[▶ 利用端末の設定項目](#)

 **補足** ● 端末情報に登録されている機種名は、シンク時に最新の情報に更新されます。

利用端末を削除する

登録されている利用端末を削除する方法を説明します。



- 利用ユーザーが登録されている端末は削除できません。利用ユーザーが登録されている端末を削除する場合は、はじめに端末の利用を停止し、端末を利用登録待ち状態にしてから削除してください。

[KUNAI for BlackBerry\(R\)の利用を停止する](#)

- 1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **利用端末の管理**の順にクリックする
- 2 利用登録待ち端末の一覧から、削除する端末を選択する
- 3  **削除する**をクリックする
- 4 削除する場合は、**削除する**をクリックする



- 次の画面からも、利用端末を削除できます。

- 「利用端末の管理」画面で、削除する端末のチェックボックスにチェックを入れて、**利用を停止する**をクリックする

利用端末を初期化する

登録されている利用端末の端末情報を初期化する方法を説明します。



- 次の操作をすると、KUNAIのデータやBlackBerry(R)端末のアドレス帳データが削除されます。

- 利用端末を初期化する：
KUNAIのデータとBlackBerry(R)端末のアドレス帳データが削除されます。
- 「アドレス帳」をシンク対象から外す：
BlackBerry(R)端末のアドレス帳データが削除されます。

上記の操作をする前に、必ず端末のアドレス帳データをバックアップしてください。

[BlackBerry スマートフォンのデータをバックアップする方法](#)

ただし、バージョン 1.0.3以降のKUNAI for BlackBerry(R)を利用し、かつ初回シンク時にシンクするアプリの設定で「アドレス帳」をシンク対象外にしている場合は、利用端末を初期化しても端末のアドレス帳データは削除されません。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **利用端末の管理**の順にクリックする
- 2 初期化する端末を選択する
端末識別番号一覧のBlackBerry(R)またはユーザー一覧から、BlackBerry(R)端末を選択できます。
- 3  **端末を初期化する**をクリックする
- 4 初期化する場合は、**初期化する**をクリックする
- 5 「利用端末の管理」画面で、**端末が初期化されたことを確認する**
初期化された端末は、「利用端末の管理」画面で利用登録待ち端末の一覧に表示されます。



- 次の画面からも、利用端末を初期化できます。
 - 「利用端末の管理」画面で、初期化する端末のチェックボックスにチェックを入れて、**初期化する** をクリックする

利用ユーザーを切り替える

端末の利用ユーザーを変更する方法を説明します。

1 KUNAI for BlackBerry(R)の利用を停止する

[KUNAI for BlackBerry\(R\)の利用を停止する](#)

端末を初期化する場合は、利用端末を初期化し、手順3に進みます。

[利用端末を初期化する](#)

2 KUNAI for BlackBerry(R)の個人設定でデータをリセットする

[KUNAI for BlackBerry\(R\)のデータをリセットする](#)

3 利用ユーザーに、新しいユーザーを追加する

[利用ユーザーを追加する](#)

4 KUNAI for BlackBerry(R)の初期設定で新しいユーザーで登録する

[KUNAI for BlackBerry\(R\)のKUNAI for BlackBerry\(R\)をインストールする](#)

未登録SIMカードの使用を許可する

すでに登録されている端末で、未登録のSIMカードの使用を許可するかどうかを設定します。

- 未登録のSIMカードの使用を許可された端末は、リモートサービスマネージャーで利用端末の登録をしなくてもKUNAI for BlackBerry(R)の利用を開始できます。海外でSIMカードを入手し、管理者に連絡せずにKUNAI for BlackBerry(R)を使用する場合などに便利です。

1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** > **利用端末の管理** の順にクリックする

2 設定を変更する端末を選択する

端末識別番号一覧のBlackBerry(R)またはユーザー一覧から、BlackBerry(R)端末を選択できます。

3 **未登録のSIMカードの使用設定** をクリックする

4 未登録SIMカードの使用を許可する場合は、「未登録SIMカードの使用を許可する」にチェックを入れ、**設定する** をクリックする

未登録のSIMカードの使用を許可する期間を指定する場合は、メニューから日時を選択し、期間を設定します。

端末情報をCSVファイルで管理する

登録されている利用端末の端末情報をCSVファイルに書き出したり、CSVファイルから端末情報を読み込んだりします。

- [端末情報をCSVファイルから読み込む](#)
- [端末情報をCSVファイルに書き出す](#)

端末情報をCSVファイルから読み込む

端末情報をCSVファイルから、リモートサービスマネージャーに読み込む手順を説明します。



● 端末情報を読み込む際の注意点

- 端末識別番号は必須項目です。
- 端末識別番号が現在登録されている端末識別番号と一致する場合、端末情報が更新されます。それ以外の場合は、新規に端末情報が追加されます。CSVファイルの編集時に、端末識別番号の先頭から"0"が削除されていないことを確認します。
- 利用登録待ち端末の端末情報を削除する場合は、削除フラグに"1"を設定します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** > **利用端末の管理**の順にクリックする
- 2 **端末情報をCSVファイルから読み込む**をクリックする
- 3 ファイル欄の **参照** をクリックして、読み込むCSVファイルを選択し、**次へ** をクリックする

■ 利用端末データ読み込みの設定項目

項目	説明
ファイル	読み込むCSVファイルを選択します。
文字コード	文字コードを切り替える場合は、ドロップダウンリストから文字コードを選択します。
先頭行をスキップする	読み込むCSVファイルの先頭行をスキップする場合は、「はい」にチェックを入れます。

- 4 内容を確認し、**読み込む** をクリックする

端末情報をCSVファイルに書き出す

リモートサービスマネージャーの端末情報をCSVファイルに書き出す手順を説明します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** > **利用端末の管理**の順にクリックする
- 2 **端末情報をCSVファイルへ書き出す**をクリックする
- 3 必要な項目を設定し、**書き出す** をクリックする

■ 利用端末データ書き出しの設定項目

項目	説明
文字コード	文字コードを切り替える場合は、ドロップダウンリストから文字コードを選択します。

3 先頭行に項目名を書き出す	CSVファイルの先頭行に項目名を書き出す場合は、「はい」にチェックを入れます。
-----------------------	---

4 ファイルを保存する

表示される画面にしたがって、ファイルを保存します。

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用しない場合

利用製品を管理する

KUNAIで利用するサイボウズ製品を、リモートサービスマネージャーで管理します。
必要な設定は、「リモートサービスの運用管理」で行います。

- ▼ [利用製品を追加する](#)
- ▼ [利用製品を更新する](#)
- ▼ [利用製品を削除する](#)

利用製品を追加する

利用ユーザーや利用端末を登録する前に、利用製品を追加します。

1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)
の順にクリックする

2  [利用製品を追加する](#) をクリックする

▶ [製品のアクセスURLの注意点について](#)

3 追加された内容を確認する

引き続き、次の設定をします。

- 利用ユーザーを追加する： [利用ユーザーの設定へ](#) をクリックし、製品を利用するユーザーを追加します。
▶ [利用ユーザーを追加する](#)
- 利用する証明書を設定する： [利用する証明書を設定する](#) をクリックします。お使いのライセンスによって
は、表示されません。
▶ [利用する証明書を設定する](#)



クリック

利用製品を更新する

登録されている利用製品の製品情報を更新する方法を説明します。

- 利用製品をバージョンアップした場合は、利用製品の製品情報を更新します。
- 利用ユーザーの設定は、製品情報を更新しても、変更する必要はありません。

- 1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする
- 2 更新する製品名を選択する
- 3  [製品情報を更新する](#) をクリックする
- 4 製品のアクセスURLを入力し、 をクリックする
 [製品のアクセスURLの注意点について](#)

利用製品を削除する

利用製品を削除する方法を説明します。

-  **注意** ● 利用製品を削除すると、その製品に設定されている利用ユーザーも削除されます。

- 1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする
- 2 削除する製品名を選択する
- 3  [削除する](#) をクリックする
- 4 削除する場合は、 をクリックする

-  **ヒント** ● 次の画面からも、利用製品を削除できます。
- 「製品/ユーザーの設定」画面で、削除する製品のチェックボックスにチェックを入れて、 をクリックする

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用しない場合

利用ユーザーを管理する

端末から製品に接続できるユーザーを、リモートサービスマネージャーで管理します。
必要な設定は、「リモートサービスの運用管理」で行います。



- 利用ユーザーを登録する前に、次の設定が完了していることを確認します。
 - 利用製品の登録



- 利用ユーザーの設定時に、製品のシステム管理者のユーザー名とパスワードを入力する画面が表示される場合があります。サイボウズ共通認証が設定されている場合でも、システム管理者として製品にログインする必要があります。

- ▣ [利用ユーザーを追加する](#)
- ▣ [利用ユーザーを削除する](#)

利用ユーザーを追加する

利用ユーザーを追加する方法を説明します。

- 利用製品を追加したあとに、引き続きユーザーを追加する場合は、手順3から操作します。

1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) > [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする

2 ユーザーを追加する製品の [利用ユーザーの設定](#) をクリックする

3 システム管理者として製品にログインする

製品にログインする必要がない場合は、この手順は省略されます。手順4に進みます。
ログイン方法は、製品での設定により異なります。

4 [利用ユーザーを追加する](#) をクリックする

すでに利用ユーザーが登録されている場合は、利用ユーザーに登録されている人数や利用ユーザー名を確認できます。

▣ [「利用ユーザーの設定」画面の見かた](#)

5 追加するユーザーを選択し、[追加する](#) をクリックする

左のリストからグループを選択したあと、追加するユーザーを選択して、[↓候補](#) をクリックし、[追加する](#) をクリックします。

所属ユーザー一覧の右上に検索欄が表示されている場合は、キーワードを入力し、候補のユーザーを検索できます。

候補に追加したユーザーを削除する場合、候補の中から削除するユーザーを選択して、[↑削除](#) をクリックします。

6 追加された内容を確認する

引き続き、[利用ユーザーにアクセス情報を連絡する](#) をクリックし、製品を利用するユーザーにアクセス情報を連絡します。

▣ [アクセス情報をユーザーに連絡する](#)

利用ユーザーを追加する場合は、[さらに利用ユーザーを追加する](#) をクリックし、手順5からの操作を繰り返す

6 ます。

利用ユーザーを削除する

利用ユーザーを削除する方法を説明します。



注意

- 製品側でユーザーを削除してもリモートサービスマネージャーには反映されません。製品側でユーザーを削除した場合は、リモートサービスマネージャー側でもユーザーを削除します。

1 「利用ユーザーの設定」画面を表示する

▶ [利用ユーザーを追加する](#)の手順1~3

2 削除するユーザーにチェックを入れ、**利用ユーザーから削除する** をクリックする

ユーザーを検索する場合は、画面右上の検索欄にキーワードを入力し、候補のユーザーを検索します。

3 利用ユーザーから外す場合は、**解除する** をクリックする

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用しない場合

クライアント証明書を管理する

KUNAI for BlackBerry(R)の初期設定では、クライアント証明書情報の含むKUNAI用のアクセス情報を設定します。KUNAI用のアクセス情報は、クライアント証明書によって異なります。

必要な設定は、「リモートサービスの運用管理」で行います。

リモートサービスのセキュアアクセスオプションが有効な場合、リモートサービスマネージャーでは次の証明書を管理します。

- マスターのクライアント証明書
- ユーザー発行クライアント証明書

パソコンからのアクセス：[クライアント証明書を管理する](#)



- KUNAI はサードパーティ製品には対応していません。KUNAI で証明書を使用する場合は、アクセスを許可する製品に、KUNAI で使用するサイボウズ製品を設定する必要があります。
- クライアント証明書の管理機能は、リモートサービスのセキュアアクセスオプションが有効な場合に使用できます。

- ▣ [証明書を発行する](#)
- ▣ [証明書を変更する](#)
- ▣ [証明書のステータスを変更する](#)
- ▣ [利用する証明書を設定する](#)
- ▣ [証明書を削除する](#)

証明書を発行する

ユーザー発行クライアント証明書を発行する方法を説明します。

1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) > [クライアント証明書の管理](#)の順にクリックする

2 ユーザー発行クライアント証明書の欄で、 [発行する](#)をクリックする

3 必要な項目を設定し、[発行する](#)をクリックする

設定する項目は、次のとおりです。

- 証明書名
- フレンドリー名
 - ▣ [フレンドリー名とは](#)
- 利用期限
- アクセスを許可する製品
- 備考



- **フレンドリー名とは**
ユーザー発行クライアント証明書を区別するための文字列です。リモートサービスにアクセスすると、利用している証明書のフレンドリー名がWebブラウザに表示されます。Webブラウザの種類によ

- ては、フレンドリー名が表示されません。
- フレンドリー名の制限事項
設定したフレンドリー名は変更できません。使用できる文字は、次のとおりです。
 - 半角スペースと「a-z、A-Z、0-9、'、+、-、:、,、.、?、()」

証明書を変更する

ユーザー発行クライアント証明書を変更する方法を説明します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **クライアント証明書の管理**の順にクリックする
- 2 変更する証明書を選択する
- 3  **変更する**をクリックする
- 4 必要な項目を設定し、**変更する** をクリックする
設定する項目は、次のとおりです。
 - 証明書名
 - 利用期限
 - アクセスを許可する製品
 - 備考

証明書のステータスを変更する

マスターのクライアント証明書とユーザー発行クライアント証明書のステータスを変更する方法を説明します。
証明書を無効にすると、その証明書を使用するユーザーは利用製品にアクセスできません。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **クライアント証明書の管理**の順にクリックする
- 2 変更する証明書を選択する
- 3  **有効にする**をクリックする
証明書を無効にする場合は、 **無効にする** をクリックします。
- 4 証明書を有効にする場合は、**有効にする** をクリックする
証明書を無効にする場合は、**無効にする** をクリックします。

利用する証明書を設定する

各製品で利用する証明書を設定する方法を説明します。

- 利用製品を追加したあとに、利用する証明書を設定する場合は、手順3から操作します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **製品/ユーザーの設定**の順にクリックする
- 2 利用する証明書を設定する製品を選択する
- 3  **利用する証明書を設定する**をクリックする
- 4 証明書一覧から、利用する証明書を選択し、**←追加** > **設定する**の順にクリックする
選択を解除する場合、証明書を選擇して、**→削除**をクリックします。

証明書を削除する

ユーザー発行クライアント証明書を削除する方法を説明します。

- +補足**
- マスターのクライアント証明書は削除できません。
 - 削除したユーザー発行クライアント証明書は、元に戻せません。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **クライアント証明書の管理**の順にクリックする
- 2 削除する証明書を選択する
- 3  **削除する**をクリックする
- 4 削除する証明書を確認し、**削除する**をクリックする

- ヒント**
- 次の画面からも、ユーザー発行クライアント証明書を削除できます。
 - 「クライアント証明書の管理」画面で、削除する証明書のチェックボックスにチェックを入れて、**削除する**をクリックする

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用しない場合

アクセス情報をユーザーに連絡する

利用ユーザーに、利用製品のアクセス情報を連絡します。

- 次の情報を利用ユーザーに連絡します。
 - KUNAI用のアクセス情報



注意

- クライアント証明書を配布する前に、次の設定が完了していることを確認します。
 - 利用製品の登録
 - 利用ユーザーの登録
 - 利用する証明書の設定： リモートサービスのセキュアアクセスオプションが有効な場合に設定します。
 - KUNAIの使用許可
 - [KUNAIの使用を制限する](#)



注意

- **KUNAI 用のアクセス情報とは**
クライアント証明書の情報が含まれているKUNAI 用のURL パスです。KUNAI では証明書をインポートせずに、このアクセス情報から証明書の情報を取り込みます。

- 1** リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  **製品/ユーザーの設定**の順にクリックする
- 2** 該当する製品名を選択する
- 3** 利用する証明書の **[証明書の利用方法]** をクリックする
お使いのライセンスによっては、複数の証明書が表示されます。
- 4** **KUNAI用のアクセス情報を確認する**
「アクセス情報」タブで確認します。
- 5** **ユーザーに連絡する**
E-mailなどを使用し、必要な情報をユーザーに連絡します。



ヒント

- 「KUNAIの利用手順の案内」画面の内容を、ユーザーに連絡すると便利です。「KUNAIの利用手順の案内」画面は、「製品/ユーザーの設定」画面で、 **KUNAIの利用手順の案内** をクリックすると表示されます。

KUNAI for iPhoneからのアクセス

KUNAI for iPhoneからのアクセス

KUNAI for iPhoneを利用する場合に必要な、リモートサービスマネージャー側の設定や操作を説明します。

- +補足**
 - 初期設定時にリモートサービスを試用するサービスとして選択していない場合は、最初にリモートサービスの試用を開始します。
 - ▶ [サービスの試用を開始する](#)

導入ガイド

- ▶ [KUNAI for iPhoneの導入ガイド](#)

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用する場合

リモートサービスマネージャーで管理された端末から製品にアクセスする場合のKUNAIの設定を説明します。クライアント証明書を利用せずに製品に直接アクセスします。

- ▶ [利用製品を管理する](#)
 - ▶ [利用製品を追加する](#)
 - ▶ [利用製品を更新する](#)
 - ▶ [利用製品を削除する](#)
- ▶ [利用ユーザーを管理する](#)
 - ▶ [利用ユーザーを追加する](#)
 - ▶ [利用ユーザーを削除する](#)
- ▶ [KUNAI for iPhoneを管理する](#)
 - ▶ [KUNAI for iPhoneをインストールする](#)
 - ▶ [KUNAI for iPhoneの利用を停止する](#)
- ▶ [利用端末を管理する](#)
 - ▶ [利用端末を追加する](#)
 - ▶ [利用端末を変更する](#)
 - ▶ [利用端末を削除する](#)
 - ▶ [利用端末を初期化する](#)
 - ▶ [利用ユーザーを切り替える](#)
 - ▶ [未登録のSIMカードの使用を許可する](#)
 - ▶ [端末情報をCSVファイルで管理する](#)

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用しない場合

クライアント証明書を利用して製品にアクセスする場合のKUNAIの設定を説明します。

- ▶ [利用製品を管理する](#)
 - ▶ [利用製品を追加する](#)
 - ▶ [利用製品を更新する](#)
 - ▶ [利用製品を削除する](#)
- ▶ [利用ユーザーを管理する](#)
 - ▶ [利用ユーザーを追加する](#)
 - ▶ [利用ユーザーを削除する](#)

- ▶ クライアント証明書を管理する
 - ▣ [証明書を発行する](#)
 - ▣ [証明書を変更する](#)
 - ▣ [証明書のステータスを変更する](#)
 - ▣ [利用する証明書を設定する](#)
 - ▣ [証明書を削除する](#)
- ▶ [アクセス情報をユーザーに連絡する](#)

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用する場合

利用製品を管理する

利用するサイボウズ製品を、リモートサービスマネージャーで管理します。

- ▣ [利用製品を追加する](#)
- ▣ [利用製品を更新する](#)
- ▣ [利用製品を削除する](#)

利用製品を追加する

利用製品を追加する方法を説明します。

- 利用ユーザーや利用端末を登録する前に、利用製品を追加します。



- サイボウズ製品だけをKUNAIの利用製品に追加できます。
- KUNAIの利用製品に登録できる製品は1つだけです。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** > **製品/ユーザーの設定**の順にクリックする
- 2 製品のアクセスURLを入力し、**追加する** をクリックする
 - ▣ [製品のアクセスURLの注意点について](#)
- 3 追加された内容を確認する
引き続き、利用ユーザーを追加する場合は、**利用ユーザーの設定へ** をクリックし、ユーザーを追加します。
 - ▣ [利用ユーザーを追加する](#)の手順3に進みます。

利用製品を更新する

登録されている利用製品の製品情報を更新する方法を説明します。

- 利用製品をバージョンアップした場合は、利用製品の製品情報を更新します。
- 利用ユーザーの設定は、製品情報を更新しても、変更する必要はありません。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** > **製品/ユーザーの設定**の順にクリックする
- 2 **製品情報を更新する** をクリックする
- 3 製品のアクセスURLを入力し、**更新する** をクリックする
 - ▣ [製品のアクセスURLの注意点について](#)

利用製品を削除する

利用製品の削除方法を説明します。



注意

- 利用製品を削除すると、利用ユーザーや利用端末の設定が削除され、リモートサービスマネージャーで端末を管理できなくなります。利用製品の情報を削除する場合は、端末を初期化してください。

[▶ 利用端末を初期化する](#)

- 1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **製品/ユーザーの設定**の順にクリックする
- 2  **削除する** をクリックする
- 3 削除する場合は、 **削除する** をクリックする

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用する場合

利用ユーザーを管理する

KUNAI for iPhoneから製品に接続できるユーザーを、リモートサービスマネージャーで管理します。



● 利用ユーザーを登録する前に、利用製品の登録が完了していることを確認します。



● 利用ユーザーの設定時に、製品のシステム管理者のユーザー名とパスワードを入力する画面が表示される場合があります。サイボウズ共通認証が設定されている場合でも、システム管理者として製品にログインする必要があります。

▣ [利用ユーザーを追加する](#)

▣ [利用ユーザーを削除する](#)

利用ユーザーを追加する

利用ユーザーを追加する方法を説明します。

- 利用製品を追加したあとに、引き続きユーザーを追加する場合は、手順2から操作します。

1 リモートサービスマネージャーで、[MDMオプションの運用管理](#) > [製品/ユーザーの設定](#) > [利用ユーザーを設定する](#)の順にクリックする

2 システム管理者として製品にログインする

製品にログインする必要がない場合は、この手順は省略されます。手順3に進みます。
ログイン方法は、製品での設定により異なります。

3 [利用ユーザーを追加する](#)をクリックする

すでに利用ユーザーが登録されている場合は、利用ユーザーに登録されている人数や利用ユーザー名を確認できます。

▣ [「利用ユーザーの設定」画面の見かた](#)

4 [追加するユーザーを選択し](#)、[追加する](#)をクリックする

左のリストからグループを選択したあと、追加するユーザーを選択して、[↓候補](#)をクリックし、[追加する](#)をクリックします。

所属ユーザー一覧の右上に検索欄が表示されている場合は、キーワードを入力し、候補のユーザーを検索できます。

候補に追加したユーザーを削除する場合、候補の中から削除するユーザーを選択して、[↑削除](#)をクリックします。

5 [追加された内容を確認する](#)

引き続き、[利用手順の案内へ](#)をクリックし、利用端末にKUNAI for iPhoneをインストールします。

▣ [KUNAI for iPhoneをインストールする](#)

すでに利用端末にKUNAI for iPhoneをインストールしている場合は、[利用端末の管理へ](#)をクリックし、利用端末を追加します。

▣ [利用端末を追加する](#)

利用ユーザーを追加する場合は、[さらに利用ユーザーを追加する](#)をクリックし、手順4からの操作を繰り返します。



- 次の画面からも、「利用ユーザーの設定」画面を表示できます。
 - 「製品/ユーザーの設定(MDMオプション)」画面で、 [利用ユーザーを設定する](#) をクリックする

利用ユーザーを削除する

利用ユーザーを削除する方法を説明します。



- 利用ユーザーを削除すると、利用端末の設定が削除され、リモートサービスマネージャーで端末を管理できなくなります。利用ユーザーを削除する場合は、端末を初期化してください。

[▶ 利用端末を初期化する](#)



- 製品側でユーザーを削除してもリモートサービスマネージャーには反映されません。製品側でユーザーを削除した場合は、リモートサービスマネージャー側でもユーザーを削除します。

1 「利用ユーザーの設定」画面を表示する

[▶ 利用ユーザーを追加する](#)の手順1~3

2 削除するユーザーにチェックを入れ、**利用ユーザーから削除する** をクリックする

ユーザーを検索する場合は、画面右上の検索欄にキーワードを入力し、候補のユーザーを検索します。

3 利用ユーザーから外す場合は、**解除する** をクリックする

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用する場合

KUNAI for iPhoneを管理する

ここでは、KUNAI for iPhoneのインストールと利用停止の方法を説明します。

- ▼ [KUNAI for iPhoneをインストールする](#)
- ▼ [KUNAI for iPhoneの利用を停止する](#)

KUNAI for iPhoneをインストールする

利用端末にKUNAI for iPhoneをインストールする方法を説明します。



注意

- 端末にKUNAI for iPhoneをインストールする前に、次の設定が完了していることを確認します。
 - 利用製品の登録
 - 利用ユーザーの登録
- 現在利用中のリモートサービスマネージャーが対応していないKUNAI for iPhoneはダウンロードできません。
最新のKUNAI for iPhoneをダウンロードする場合は、先にリモートサービスマネージャーをバージョンアップします。

- 1 iPhone端末でApp Store にアクセスし、KUNAI for iPhoneをダウンロードする
- 2 iPhone端末にKUNAI for iPhoneをインストールして、端末識別番号を確認する

 [KUNAI for iPhoneのKUNAI for iPhoneをインストールする](#)



ヒント

- KUNAI for iPhoneをダウンロードする手順は、次の画面でも確認できます。
 - 「製品/ユーザーの設定(MDMオプション)」画面で、 [利用手順の案内](#) をクリックする

KUNAI for iPhoneの利用を停止する

端末にインストールされているKUNAI for iPhoneの利用を一時的に停止する方法を説明します。

- 利用を停止された端末では、データをシンクできません。



注意

- KUNAI for iPhoneの利用を停止すると、リモートサービスマネージャーで端末を管理できなくなります。利用を停止する前に、端末を初期化してください。

[▶ 利用端末を初期化する](#)



補足

- 製品側でユーザーを削除してもリモートサービスマネージャーには反映されません。製品側でユーザーを削除した場合は、リモートサービスマネージャー側でもユーザーを削除します。

1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **利用端末の管理**の順に
クリックする

2 利用を停止する端末を選択する

端末識別番号一覧のiPhone またはユーザー一覧から、iPhone端末を選択できます。

3  **利用を停止する**をクリックする

4 利用を停止する場合は、 **利用を停止する** をクリックする



ヒント

- 次の画面からも、KUNAI for iPhoneの利用を停止できます。

- 「利用端末の管理」画面で、停止する端末のチェックボックスにチェックを入れて、 **利用を停止する** をクリックする



補足

- **KUNAI for iPhoneの利用を再開する方法**

KUNAI for iPhoneにアクセス情報を設定し、製品にログインします。

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用する場合

利用端末を管理する

KUNAI for iPhoneを利用する端末を、リモートサービスマネージャーで管理します。

-  **注意** ● 利用ユーザーを登録する前に、次の設定が完了していることを確認します。
 - 利用製品の登録
 - 利用製品の選択
 - 端末へのKUNAI for iPhoneのインストール
 - KUNAIの使用許可
 - ▶ [KUNAIの使用を制限する](#)
- SIMカードを入れ替えて複数のユーザーで1台のKUNAI for iPhoneを利用したり、一人のユーザーが複数の端末でKUNAI for iPhoneを利用したりできます。

- ▶ [利用端末を追加する](#)
- ▶ [利用端末を変更する](#)
- ▶ [利用端末を削除する](#)
- ▶ [利用端末を初期化する](#)
- ▶ [利用ユーザーを切り替える](#)
- ▶ [未登録SIMカードの使用を許可する](#)
- ▶ [端末情報をCSVファイルで管理する](#)

利用端末を追加する

利用端末を追加する方法を説明します。

- 利用ユーザーを追加したあとに、引き続き端末を追加する場合は、手順2から操作します。

-  **注意** ● 利用端末の追加時に入力する端末識別番号を元に、利用端末を管理します。入力する端末識別番号に誤りがないように注意してください。端末識別番号が間違っていると、KUNAI for iPhoneを使用できません。

-  **補足** ● CSVファイルを使って利用端末を追加できます。
 - ▶ [端末情報をCSVファイルで管理する](#)

- 1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **利用端末の管理**の順にクリックする
- 2  **利用端末を追加する**をクリックする
 - ▶ [「利用端末の管理」画面の見かた](#)
- 3 必要な項目を入力し、**追加する**をクリックする
 - ▶ [利用端末の設定項目](#)

項目	説明
端末識別番号	KUNAI for iPhoneのインストール完了画面に表示される、端末識別番号を入力します。一度設定すると変更できません。
メールアドレス	利用端末のメールアドレスを入力します。
備考	備考を入力します。
利用ユーザー	利用ユーザーは、初回ログイン時に自動的に登録されます。ここで表示されるユーザーがこの利用端末でKUNAI for iPhoneを使用できます。

4 ユーザーに端末を配布する

次の設定が完了していることを確認し、利用ユーザーにiPhone端末を配布します。

- 利用製品の設定
- 利用ユーザーの設定
- 端末へのKUNAI for iPhoneのインストール

引き続き、利用端末を追加する場合は、[利用端末を追加する](#) をクリックし、手順3からの操作を繰り返します。利用ユーザーを追加していない場合は、[利用ユーザーの設定へ](#) をクリックし、利用ユーザーを追加します。

[▶ 利用ユーザーを追加する](#)

利用端末を変更する

登録されている利用端末の端末情報を変更する方法を説明します。

- 変更できる項目は、次のとおりです。
 - メールアドレス
 - 備考
 - KUNAIのバージョン

1 リモートサービスマネージャーで、[MDMオプションの運用管理](#) >  [利用端末の管理](#)の順にクリックする

2 変更する端末を選択する

端末識別番号一覧のiPhoneまたはユーザー一覧から、iPhone端末を、選択できます。

3  [変更する](#) をクリックする

4 必要な情報を変更し、[変更する](#) をクリックする

[▶ 利用端末の設定項目](#)

 **補足** ● 端末情報に登録されている機種名は、シンク時に最新の情報に更新されます。

利用端末を削除する

登録されている利用端末をリモートサービスマネージャーから削除する方法を説明します。

 **注意** ● 利用ユーザーが登録されている端末は削除できません。利用ユーザーが登録されている端末を削除する

- 場合は、はじめに端末の利用を停止し、端末を利用登録待ち状態にしてから削除してください。
▶ [KUNAI for iPhoneの利用を停止する](#)

- 1 リモートサービスマネージャーで、[MDMオプションの運用管理](#) >  [利用端末の管理](#)の順にクリックする
- 2 利用登録待ち端末の一覧から、削除する端末を選択する
- 3  [削除する](#)をクリックする
- 4 削除する場合は、[削除する](#)をクリックする

-  **ヒント** ● 次の画面からも、利用端末を削除できます。
- 「利用端末の管理」画面で、削除する端末のチェックボックスにチェックを入れて、[利用を停止する](#)をクリックする

利用端末を初期化する

登録されている利用端末の端末情報を初期化する方法を説明します。

-  **注意** ● 利用端末を初期化すると、端末のデータがリセットされ、KUNAIの利用が停止されます。

- 1 リモートサービスマネージャーで、[MDMオプションの運用管理](#) >  [利用端末の管理](#)の順にクリックする
- 2 初期化する端末を選択する
端末識別番号一覧のiPhoneまたはユーザー一覧から、iPhone端末を選択できます。
- 3  [端末を初期化する](#)をクリックする
- 4 初期化する場合は、[初期化する](#)をクリックする
- 5 「[利用端末の管理](#)」画面で、[端末が初期化されたことを確認する](#)
初期化された端末は、「[利用端末の管理](#)」画面で利用登録待ち端末の一覧に表示されます。

-  **ヒント** ● 次の画面からも、利用端末を初期化できます。
- 「[利用端末の管理](#)」画面で、初期化する端末のチェックボックスにチェックを入れて、[初期化する](#)をクリックする

利用ユーザーを切り替える

端末の利用ユーザーを切り替える方法を説明します。

- 1 [KUNAI for iPhoneの利用を停止する](#)
▶ [KUNAI for iPhoneの利用を停止する](#)
端末を初期化する場合は、利用端末を初期化し、手順3に進みます。
▶ [利用端末を初期化する](#)
- 2 [利用ユーザーに、新しいユーザーを追加する](#)

2  [利用ユーザーを追加する](#)

3 **KUNAI for iPhoneの初期設定で新しいユーザーで登録する**

 [KUNAI for iPhoneのKUNAI for iPhoneをインストールする](#)

+補足 ● 端末情報に登録されている機種名は、シンク時に最新の情報に更新されます。

未登録SIMカードの使用を許可する

すでにリモートサービスマネージャーに登録されている端末で、未登録のSIMカードの使用を許可するかどうかを設定します。

- 未登録のSIMカードの使用を許可された端末は、リモートサービスマネージャーで利用端末の登録をしなくてもKUNAI for iPhoneの利用を開始できます。たとえば海外でSIMカードを入手し、管理者に連絡せずにKUNAI for iPhoneを使用する場合に便利です。

1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **利用端末の管理**の順にクリックする

2 **設定を変更する端末を選択する**

端末識別番号一覧のiPhoneまたはユーザー一覧から、iPhone端末を選択できます。

3  **未登録のSIMカードの使用設定**をクリックする

4 **未登録SIMカードの使用を許可する場合は、「未登録SIMカードの使用を許可する」にチェックを入れ、**設定する**をクリックする**

未登録のSIMカードの使用を許可する期間を指定する場合は、メニューから日時を選択し、期間を設定します。

端末情報をCSVファイルで管理する

登録されている利用端末の端末情報をCSVファイルに書き出したり、CSVファイルから端末情報を読み込んだりします。

-  [端末情報をCSVファイルから読み込む](#)
-  [端末情報をCSVファイルに書き出す](#)

端末情報をCSVファイルから読み込む

CSVファイルから、リモートサービスマネージャーに端末情報を読み込む手順を説明します。

-  **注意** ● **端末情報を読み込む際の注意点**
- 端末識別番号は必須項目です。
 - 端末識別番号が現在登録されている端末識別番号と一致する場合、端末情報が更新されます。それ以外の場合は、新規に端末情報が追加されます。CSVファイルの編集時に、端末識別番号の先頭から"0"が削除されていないことを確認します。
 - 利用登録待ち端末の端末情報を削除する場合は、削除フラグに"1"を設定します。

1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **利用端末の管理**の順にクリックする

2  端末情報をCSVファイルから読み込むをクリックする

3 ファイル欄の **参照** をクリックして、読み込むCSVファイルを選択し、 **次へ** をクリックする

■ 利用端末データ読み込みの設定項目

項目	説明
ファイル	読み込むCSVファイルを選択します。
文字コード	文字コードを切り替える場合は、ドロップダウンリストから文字コードを選択します。
先頭行をスキップする	読み込むCSVファイルの先頭行をスキップする場合は、「はい」にチェックを入れます。

4 内容を確認し、 **読み込む** をクリックする

端末情報をCSVファイルに書き出す

リモートサービスマネージャーの端末情報をCSVファイルに書き出す手順を説明します。

1 リモートサービスマネージャーで、 **MDMオプションの運用管理** >  **利用端末の管理** の順にクリックする

2  端末情報をCSVファイルへ書き出すをクリックする

3 必要な項目を設定し、 **書き出す** をクリックする

■ 利用端末データ書き出しの設定項目

項目	説明
文字コード	文字コードを切り替える場合は、ドロップダウンリストから文字コードを選択します。
先頭行に項目名を書き出す	CSVファイルの先頭行に項目名を書き出す場合は、「はい」にチェックを入れます。

4 **ファイルを保存する**

表示される画面にしたがって、ファイルを保存します。

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用しない場合

利用製品を管理する

KUNAIで利用するサイボウズ製品を、リモートサービスマネージャーで管理します。
必要な設定は、「リモートサービスの運用管理」で行います。

- ▼ [利用製品を追加する](#)
- ▼ [利用製品を更新する](#)
- ▼ [利用製品を削除する](#)

利用製品を追加する

利用ユーザーや利用端末を登録する前に、利用製品を追加します。

1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする

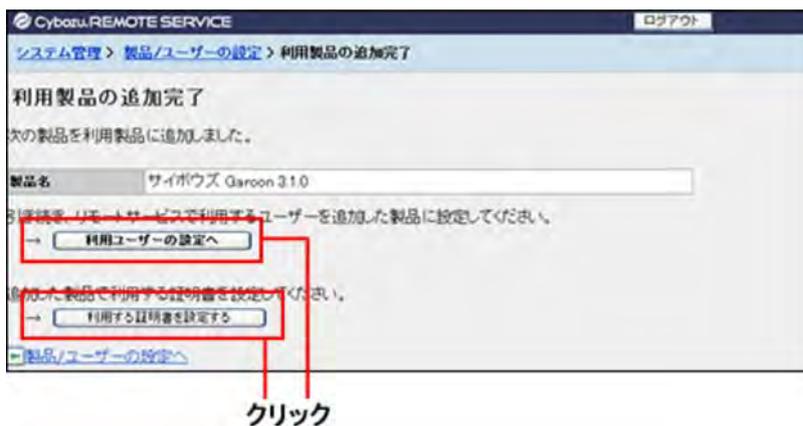
2  [利用製品を追加する](#)をクリックする

▶ [製品のアクセスURLの注意点について](#)

3 追加された内容を確認する

引き続き、次の設定をします。

- 利用ユーザーを追加する： [利用ユーザーの設定へ](#) をクリックし、製品を利用するユーザーを追加します。
▶ [利用ユーザーを追加する](#)
- 利用する証明書を設定する： [利用する証明書を設定する](#) をクリックします。お使いのライセンスによっては、表示されません。
▶ [利用する証明書を設定する](#)



利用製品を更新する

登録されている利用製品の製品情報を更新する方法を説明します。

- 利用製品をバージョンアップした場合は、利用製品の製品情報を更新します。
- 利用ユーザーの設定は、製品情報を更新しても、変更する必要はありません。

- 1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする
- 2 更新する製品名を選択する
- 3  [製品情報を更新する](#) をクリックする
- 4 製品のアクセスURLを入力し、 をクリックする
 -  [製品のアクセスURLの注意点について](#)

利用製品を削除する

利用製品を削除する方法を説明します。

-  **注意** ● 利用製品を削除すると、その製品に設定されている利用ユーザーも削除されます。

- 1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする
- 2 削除する製品名を選択する
- 3  [削除する](#) をクリックする
- 4 削除する場合は、 をクリックする

-  **ヒント** ● 次の画面からも、利用製品を削除できます。
- 「製品/ユーザーの設定」画面で、削除する製品のチェックボックスにチェックを入れて、 をクリックする

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用しない場合

利用ユーザーを管理する

端末から製品に接続できるユーザーを、リモートサービスマネージャーで管理します。
必要な設定は、「リモートサービスの運用管理」で行います。



- 利用ユーザーを登録する前に、次の設定が完了していることを確認します。
 - 利用製品の登録



- 利用ユーザーの設定時に、製品のシステム管理者のユーザー名とパスワードを入力する画面が表示される場合があります。サイボウズ共通認証が設定されている場合でも、システム管理者として製品にログインする必要があります。

- ▣ [利用ユーザーを追加する](#)
- ▣ [利用ユーザーを削除する](#)

利用ユーザーを追加する

利用ユーザーを追加する方法を説明します。

- 利用製品を追加したあとに、引き続きユーザーを追加する場合は、手順3から操作します。

1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) > [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする

2 ユーザーを追加する製品の [利用ユーザーの設定](#) をクリックする

3 システム管理者として製品にログインする

製品にログインする必要がない場合は、この手順は省略されます。手順4に進みます。
ログイン方法は、製品での設定により異なります。

4 [利用ユーザーを追加する](#) をクリックする

すでに利用ユーザーが登録されている場合は、利用ユーザーに登録されている人数や利用ユーザー名を確認できます。

▣ [「利用ユーザーの設定」画面の見かた](#)

5 追加するユーザーを選択し、[追加する](#) をクリックする

左のリストからグループを選択したあと、追加するユーザーを選択して、[↓候補](#) をクリックし、[追加する](#) をクリックします。

所属ユーザー一覧の右上に検索欄が表示されている場合は、キーワードを入力し、候補のユーザーを検索できます。

候補に追加したユーザーを削除する場合、候補の中から削除するユーザーを選択して、[↑削除](#) をクリックします。

6 追加された内容を確認する

引き続き、[利用ユーザーにアクセス情報を連絡する](#) をクリックし、製品を利用するユーザーにアクセス情報を連絡します。

▣ [アクセス情報をユーザーに連絡する](#)

利用ユーザーを追加する場合は、[さらに利用ユーザーを追加する](#) をクリックし、手順5からの操作を繰り返す

6 ます。

利用ユーザーを削除する

利用ユーザーを削除する方法を説明します。



注意

- 製品側でユーザーを削除してもリモートサービスマネージャーには反映されません。製品側でユーザーを削除した場合は、リモートサービスマネージャー側でもユーザーを削除します。

1 「利用ユーザーの設定」画面を表示する

▶ [利用ユーザーを追加する](#)の手順1~3

2 削除するユーザーにチェックを入れ、**利用ユーザーから削除する** をクリックする

ユーザーを検索する場合は、画面右上の検索欄にキーワードを入力し、候補のユーザーを検索します。

3 利用ユーザーから外す場合は、**解除する** をクリックする

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用しない場合

クライアント証明書を管理する

KUNAI for iPhoneの初期設定では、クライアント証明書を含むKUNAI用のアクセス情報を設定します。
KUNAI用のアクセス情報は、クライアント証明書によって異なります。

必要な設定は、「リモートサービスの運用管理」で行います。

リモートサービスのセキュアアクセスオプションが有効な場合、リモートサービスマネージャーでは次の証明書を管理します。

- マスターのクライアント証明書
- ユーザー発行クライアント証明書

パソコンからのアクセス：[クライアント証明書を管理する](#)



注意

- KUNAIはサードパーティ製品には対応していません。KUNAIで証明書を使用する場合は、アクセスを許可する製品に、KUNAIで使用するサイボウズ製品を設定する必要があります。
- クライアント証明書の管理機能は、リモートサービスのセキュアアクセスオプションが有効な場合に使用できます。

- ▣ [証明書を発行する](#)
- ▣ [証明書を変更する](#)
- ▣ [証明書のステータスを変更する](#)
- ▣ [利用する証明書を設定する](#)
- ▣ [証明書を削除する](#)

証明書を発行する

ユーザー発行クライアント証明書を発行する方法を説明します。

1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) > [クライアント証明書の管理](#)の順にクリックする

2 ユーザー発行クライアント証明書の欄で、 [発行する](#)をクリックする

3 必要な項目を設定し、[発行する](#)をクリックする

設定する項目は、次のとおりです。

- 証明書名
- フレンドリー名
 - ▣ [フレンドリー名とは](#)
- 利用期限
- アクセスを許可する製品
- 備考



補足

- **フレンドリー名とは**

ユーザー発行クライアント証明書を区別するための文字列です。リモートサービスにアクセスすると、利用している証明書のフレンドリー名がWebブラウザに表示されます。Webブラウザの種類によ

- ては、フレンドリー名が表示されません。
- フレンドリー名の制限事項
設定したフレンドリー名は変更できません。使用できる文字は、次のとおりです。
 - 半角スペースと「a-z、A-Z、0-9、'、+、-、:、,、.、?、()」

証明書を変更する

ユーザー発行クライアント証明書を変更する方法を説明します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **クライアント証明書の管理**の順にクリックする
- 2 変更する証明書を選択する
- 3  **変更する**をクリックする
- 4 必要な項目を設定し、**変更する** をクリックする
設定する項目は、次のとおりです。
 - 証明書名
 - 利用期限
 - アクセスを許可する製品
 - 備考

証明書のステータスを変更する

マスターのクライアント証明書とユーザー発行クライアント証明書のステータスを変更する方法を説明します。
証明書を無効にすると、その証明書を使用するユーザーは利用製品にアクセスできません。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **クライアント証明書の管理**の順にクリックする
- 2 変更する証明書を選択する
- 3  **有効にする**をクリックする
証明書を無効にする場合は、 **無効にする** をクリックします。
- 4 証明書を有効にする場合は、**有効にする** をクリックする
証明書を無効にする場合は、**無効にする** をクリックします。

利用する証明書を設定する

各製品で利用する証明書を設定する方法を説明します。

- 利用製品を追加したあとに、利用する証明書を設定する場合は、手順3から操作します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **製品/ユーザーの設定**の順にクリックする
- 2 利用する証明書を設定する製品を選択する
- 3  **利用する証明書を設定する**をクリックする
- 4 証明書一覧から、利用する証明書を選択し、**←追加** > **設定する**の順にクリックする
選択を解除する場合、証明書を選擇して、**→削除**をクリックします。

証明書を削除する

ユーザー発行クライアント証明書を削除する方法を説明します。

- +補足**
- マスターのクライアント証明書は削除できません。
 - 削除したユーザー発行クライアント証明書は、元に戻せません。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **クライアント証明書の管理**の順にクリックする
- 2 削除する証明書を選択する
- 3  **削除する**をクリックする
- 4 削除する証明書を確認し、**削除する**をクリックする

- ヒント**
- 次の画面からも、ユーザー発行クライアント証明書を削除できます。
 - 「クライアント証明書の管理」画面で、削除する証明書のチェックボックスにチェックを入れて、**削除する**をクリックする

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用しない場合

アクセス情報をユーザーに連絡する

利用ユーザーに、利用製品のアクセス情報を連絡します。

- 次の情報を利用ユーザーに連絡します。
 - KUNAI 用のアクセス情報



注意

- クライアント証明書を配布する前に、次の設定が完了していることを確認します。
 - 利用製品の登録
 - 利用ユーザーの登録
 - 利用する証明書の設定： リモートサービスのセキュアアクセスオプションが有効な場合に設定します。
 - KUNAIの使用許可
 - [KUNAIの使用を制限する](#)



注意

- **KUNAI用のアクセス情報とは**
クライアント証明書の情報が含まれているKUNAI用のURLパスです。KUNAIでは証明書をインポートせずに、このアクセス情報から証明書の情報を取り込みます。

- 1** リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする
- 2** 該当する製品名を選択する
- 3** 利用する証明書の [\[証明書の利用方法\]](#) をクリックする
お使いのライセンスによっては、複数の証明書が表示されます。
- 4** KUNAI用のアクセス情報を確認する
「アクセス情報」タブで確認します。
- 5** ユーザーに連絡する
E-mailなどを使用し、必要な情報をユーザーに連絡します。



ヒント

- 「KUNAIの利用手順の案内」画面の内容を、ユーザーに連絡すると便利です。「KUNAIの利用手順の案内」画面は、「製品/ユーザーの設定」画面で、 [KUNAIの利用手順の案内](#) をクリックすると表示されます。

KUNAI for Androidからのアクセス

KUNAI for Androidからのアクセス

KUNAI for Androidを利用する場合に必要な、リモートサービスマネージャー側の設定や操作を説明します。

- +補足**
 - 初期設定時にリモートサービスを試用するサービスとして選択していない場合は、最初にリモートサービスの試用を開始します。
 - ▶ [サービスの試用を開始する](#)

導入ガイド

- ▶ [KUNAI for Androidの導入ガイド](#)

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用する場合

リモートサービスマネージャーで管理された端末から製品にアクセスする場合のKUNAIの設定を説明します。クライアント証明書を利用せずに製品に直接アクセスします。

- ▶ [利用製品を管理する](#)
 - ▶ [利用製品を追加する](#)
 - ▶ [利用製品を更新する](#)
 - ▶ [利用製品を削除する](#)
- ▶ [利用ユーザーを管理する](#)
 - ▶ [利用ユーザーを追加する](#)
 - ▶ [利用ユーザーを削除する](#)
- ▶ [KUNAI for Androidを管理する](#)
 - ▶ [KUNAI for Androidをインストールする](#)
 - ▶ [KUNAI for Androidの利用を停止する](#)
- ▶ [利用端末を管理する](#)
 - ▶ [利用端末を追加する](#)
 - ▶ [利用端末を変更する](#)
 - ▶ [利用端末を削除する](#)
 - ▶ [利用端末を初期化する](#)
 - ▶ [利用ユーザーを切り替える](#)
 - ▶ [未登録のSIMカードの使用を許可する](#)
 - ▶ [端末情報をCSVファイルで管理する](#)

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用しない場合

クライアント証明書を利用して製品にアクセスする場合のKUNAIの設定を説明します。

- ▶ [利用製品を管理する](#)
 - ▶ [利用製品を追加する](#)
 - ▶ [利用製品を更新する](#)
 - ▶ [利用製品を削除する](#)
- ▶ [利用ユーザーを管理する](#)
 - ▶ [利用ユーザーを追加する](#)
 - ▶ [利用ユーザーを削除する](#)

- ▶ クライアント証明書を管理する
 - ▣ [証明書を発行する](#)
 - ▣ [証明書を変更する](#)
 - ▣ [証明書のステータスを変更する](#)
 - ▣ [利用する証明書を設定する](#)
 - ▣ [証明書を削除する](#)
- ▶ [アクセス情報をユーザーに連絡する](#)

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用する場合

利用製品を管理する

利用するサイボウズ製品を、リモートサービスマネージャーで管理します。

- ▣ [利用製品を追加する](#)
- ▣ [利用製品を更新する](#)
- ▣ [利用製品を削除する](#)

利用製品を追加する

利用製品を追加する方法を説明します。

- 利用ユーザーや利用端末を登録する前に、利用製品を追加します。

- +補足**
- サイボウズ製品だけをKUNAIの利用製品に追加できます。
 - KUNAIの利用製品に登録できる製品は1つだけです。

- 1** リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **製品/ユーザーの設定**の順にクリックする
- 2** 製品のアクセスURLを入力し、**追加する** をクリックする
 - ▣ [製品のアクセスURLの注意点について](#)
- 3** 追加された内容を確認する
引き続き、利用ユーザーを追加する場合は、**利用ユーザーの設定へ** をクリックし、ユーザーを追加します。
 - ▣ [利用ユーザーを追加する](#)の手順3に進みます。

利用製品を更新する

登録されている利用製品の製品情報を更新する方法を説明します。

- 利用製品をバージョンアップした場合は、利用製品の製品情報を更新します。
- 利用ユーザーの設定は、製品情報を更新しても、変更する必要はありません。

- 1** リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **製品/ユーザーの設定**の順にクリックする
- 2**  **製品情報を更新する** をクリックする
- 3** 製品のアクセスURLを入力し、**更新する** をクリックする
 - ▣ [製品のアクセスURLの注意点について](#)

利用製品を削除する

利用製品を削除する方法を説明します。



注意

- 利用製品を削除すると、利用ユーザーや利用端末の設定が削除され、リモートサービスマネージャーで端末を管理できなくなります。利用製品の情報を削除する場合は、端末を初期化してください。

[▶ 利用端末を初期化する](#)

- 1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **製品/ユーザーの設定**の順にクリックする
- 2  **削除する** をクリックする
- 3 削除する場合は、 **削除する** をクリックする

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用する場合

利用ユーザーを管理する

KUNAI for Androidから製品に接続できるユーザーを、リモートサービスマネージャーで管理します。



- 利用ユーザーを登録する前に、利用製品の登録が完了していることを確認します。



- 利用ユーザーの設定時に、製品のシステム管理者のユーザー名とパスワードを入力する画面が表示される場合があります。サイボウズ共通認証が設定されている場合でも、システム管理者として製品にログインする必要があります。

- ▣ [利用ユーザーを追加する](#)
- ▣ [利用ユーザーを削除する](#)

利用ユーザーを追加する

利用ユーザーを追加する方法を説明します。

- 利用製品を追加したあとに、引き続きユーザーを追加する場合は、手順2から操作します。

1 リモートサービスマネージャーで、[MDMオプションの運用管理](#) > [製品/ユーザーの設定](#) > [利用ユーザーを設定する](#)の順にクリックする

2 システム管理者として製品にログインする

製品にログインする必要がない場合は、この手順は省略されます。手順3に進みます。
ログイン方法は、製品での設定により異なります。

3 [利用ユーザーを追加する](#)をクリックする

すでに利用ユーザーが登録されている場合は、利用ユーザーに登録されている人数や利用ユーザー名を確認できます。

▣ [「利用ユーザーの設定」画面の見かた](#)

4 [追加するユーザーを選択し](#)、[追加する](#)をクリックする

左のリストからグループを選択したあと、追加するユーザーを選択して、[↓候補](#)をクリックし、[追加する](#)をクリックします。

所属ユーザー一覧の右上に検索欄が表示されている場合は、キーワードを入力し、候補のユーザーを検索できます。

候補に追加したユーザーを削除する場合、候補の中から削除するユーザーを選択して、[↑削除](#)をクリックします。

5 [追加された内容を確認する](#)

引き続き、[利用手順の案内へ](#)をクリックし、利用端末にKUNAI for Androidをインストールします。

▣ [KUNAI for Androidをインストールする](#)

すでに利用端末にKUNAI for Androidをインストールしている場合は、[利用端末の管理へ](#)をクリックし、利用端末を追加します。

▣ [利用端末を追加する](#)

利用ユーザーを追加する場合は、[さらに利用ユーザーを追加する](#)をクリックし、手順4からの操作を繰り返します。

ヒント

- 次の画面からも、「利用ユーザーの設定」画面を表示できます。
 - 「製品/ユーザーの設定(MDMオプション)」画面で、 **利用ユーザーを設定する** をクリックする

利用ユーザーを削除する

利用ユーザーを削除する方法を説明します。

注意

- 利用ユーザーを削除すると、利用端末の設定が削除され、リモートサービスマネージャーで端末を管理できなくなります。利用ユーザーを削除する場合は、端末を初期化してください。

 [利用端末を初期化する](#)

補足

- 製品側でユーザーを削除してもリモートサービスマネージャーには反映されません。製品側でユーザーを削除した場合は、リモートサービスマネージャー側でもユーザーを削除します。

1 「利用ユーザーの設定」画面を表示する

 [利用ユーザーを追加する](#)の手順1~3

2 削除するユーザーにチェックを入れ、**利用ユーザーから削除する** をクリックする

ユーザーを検索する場合は、画面右上の検索欄にキーワードを入力し、候補のユーザーを検索します。

3 利用ユーザーから外す場合は、**解除する** をクリックする

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用する場合

KUNAI for Androidを管理する

ここでは、KUNAI for Androidのインストールと利用停止の方法を説明します。

- ▼ [KUNAI for Androidをインストールする](#)
- ▼ [KUNAI for Androidの利用を停止する](#)

KUNAI for Androidをインストールする

利用端末にKUNAI for Androidをインストールする方法を説明します。

-  **注意**
- 端末にKUNAI for Androidをインストールする前に、次の設定が完了していることを確認します。
 - 利用製品の登録
 - 利用ユーザーの登録
 - 現在利用中のリモートサービスマネージャーが対応していないKUNAI for Androidはダウンロードできません。
最新のKUNAI for Androidをダウンロードする場合は、先にリモートサービスマネージャーをバージョンアップします。

1 Android端末でGoogle Play(旧 : Android Market)にアクセスし、KUNAI for Androidをダウンロードする

2 Android端末にKUNAI for Androidをインストールして、端末識別番号を確認する

- ☐ [KUNAI for AndroidのKUNAI for Androidをインストールする](#)

-  **ヒント**
- KUNAI for Androidをダウンロードする手順は、次の画面でも確認できます。
 - 「製品/ユーザーの設定(MDMオプション)」画面で、 [利用手順の案内](#) をクリックする

KUNAI for Androidの利用を停止する

端末にインストールされているKUNAI for Androidの利用を一時的に停止する方法を説明します。

- 利用を停止された端末では、データをシンクできません。

-  **注意**
- KUNAI for Androidの利用を停止すると、リモートサービスマネージャーで端末を管理できなくなります。利用を停止する前に、端末を初期化してください。
 - ▶ [利用端末を初期化する](#)

-  **補足**
- 製品側でユーザーを削除してもリモートサービスマネージャーには反映されません。製品側でユーザーを削除した場合は、リモートサービスマネージャー側でもユーザーを削除します。

1 リモートサービスマネージャーで、[MDMオプションの運用管理](#) >  [利用端末の管理](#)の順に

1 クリックする

2 利用を停止する端末を選択する

端末識別番号一覧のAndroid またはユーザー一覧から、Android端末を選択できます。

3  **利用を停止する** をクリックする

4 利用を停止する場合は、 **利用を停止する** をクリックする



● 次の画面からも、KUNAI for Androidの利用を停止できます。

- 「利用端末の管理」画面で、停止する端末のチェックボックスにチェックを入れて、 **利用を停止する** をクリックする



● **KUNAI for Androidの利用を再開する方法**

KUNAI for Androidにアクセス情報を設定し、製品にログインします。

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用する場合

利用端末を管理する

KUNAI for Androidを利用する端末を、リモートサービスマネージャーで管理します。

-  **注意** ● 利用ユーザーを登録する前に、次の設定が完了していることを確認します。
 - 利用製品の登録
 - 利用製品の選択
 - 端末へのKUNAI for Androidのインストール
 - KUNAIの使用許可
 - ▶ [KUNAIの使用を制限する](#)
- SIMカードを入れ替えて複数のユーザーで1台のKUNAI for Androidを利用したり、一人のユーザーが複数の端末でKUNAI for Androidを利用したりできます。

- ▶ [利用端末を追加する](#)
- ▶ [利用端末を変更する](#)
- ▶ [利用端末を削除する](#)
- ▶ [利用端末を初期化する](#)
- ▶ [利用ユーザーを切り替える](#)
- ▶ [未登録SIMカードの使用を許可する](#)
- ▶ [端末情報をCSVファイルで管理する](#)

利用端末を追加する

利用端末を追加する方法を説明します。

- 利用ユーザーを追加したあとに、引き続き端末を追加する場合は、手順2から操作します。

-  **注意** ● 利用端末の追加時に入力する端末識別番号を元に、利用端末を管理します。入力する端末識別番号に誤りがないように注意してください。端末識別番号が間違っていると、KUNAI for Androidを使用できません。

-  **補足** ● CSVファイルを使って利用端末を追加できます。
 - ▶ [端末情報をCSVファイルで管理する](#)

- 1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **利用端末の管理** の順にクリックする
- 2  **利用端末を追加する** をクリックする
 - ▶ [「利用端末の管理」画面の見かた](#)
- 3 必要な項目を入力し、**追加する** をクリックする
 - ▶ 利用端末の設定項目

項目	説明
端末識別番号	KUNAI for Androidのインストール完了画面に表示される、端末識別番号を入力します。 一度設定すると変更できません。
メールアドレス	利用端末のメールアドレスを入力します。
備考	備考を入力します。
利用ユーザー	利用ユーザーは、初回ログイン時に自動的に登録されます。 ここで表示されるユーザーがこの利用端末でKUNAI for Androidを使用できます。

4 ユーザーに端末を配布する

次の設定が完了していることを確認し、利用ユーザーにAndroid端末を配布します。

- 利用製品の設定
- 利用ユーザーの設定
- 端末へのKUNAI for Androidのインストール

引き続き、利用端末を追加する場合は、[利用端末を追加する](#) をクリックし、手順3からの操作を繰り返します。
利用ユーザーを追加していない場合は、[利用ユーザーの設定へ](#) をクリックし、利用ユーザーを追加します。

[利用ユーザーを追加する](#)

利用端末を変更する

登録されている利用端末の端末情報を変更する方法を説明します。

- 変更できる項目は、次のとおりです。
 - メールアドレス
 - 備考
 - KUNAIのバージョン

1 リモートサービスマネージャーで、[MDMオプションの運用管理](#) >  [利用端末の管理](#) の順に
クリックする

2 変更する端末を選択する

端末識別番号一覧のAndroidまたはユーザー一覧から、Android端末を、選択できます。

3  [変更する](#) をクリックする

4 必要な情報を変更し、[変更する](#) をクリックする

[利用端末の設定項目](#)

 **補足** ● 端末情報に登録されている機種名は、シンク時に最新の情報に更新されます。

利用端末を削除する

登録されている利用端末をリモートサービスマネージャーから削除する方法を説明します。



- 利用ユーザーが登録されている端末は削除できません。利用ユーザーが登録されている端末を削除する場合は、はじめに端末の利用を停止し、端末を利用登録待ち状態にしてから削除してください。

[KUNAI for Androidの利用を停止する](#)

- 1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** > **利用端末の管理**の順にクリックする
- 2 利用登録待ち端末の一覧から、削除する端末を選択する
- 3 **削除する**をクリックする
- 4 削除する場合は、**削除する**をクリックする



- 次の画面からも、利用端末を削除できます。

- 「利用端末の管理」画面で、削除する端末のチェックボックスにチェックを入れて、**利用を停止する**をクリックする

利用端末を初期化する

登録されている利用端末の端末情報を初期化する方法を説明します。



- 利用端末を初期化すると、端末のデータがリセットされ、KUNAIの利用が停止されます。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** > **利用端末の管理**の順にクリックする
- 2 初期化する端末を選択する
端末識別番号一覧のAndroidまたはユーザー一覧から、Android端末を選択できます。
- 3 **端末を初期化する**をクリックする
- 4 初期化する場合は、**初期化する**をクリックする
- 5 「利用端末の管理」画面で、**端末が初期化されたことを確認する**
初期化された端末は、「利用端末の管理」画面で利用登録待ち端末の一覧に表示されます。



- 次の画面からも、利用端末を初期化できます。

- 「利用端末の管理」画面で、初期化する端末のチェックボックスにチェックを入れて、**初期化する**をクリックする

利用ユーザーを切り替える

端末の利用ユーザーを切り替える方法を説明します。

- 1 **KUNAI for Androidの利用を停止する**

[KUNAI for Androidの利用を停止する](#)

端末を初期化する場合は、利用端末を初期化し、手順3に進みます。

- 1  [利用端末を初期化する](#)
- 2 **利用ユーザーに、新しいユーザーを追加する**
 - 1  [利用ユーザーを追加する](#)
- 3 **KUNAI for Androidの初期設定で新しいユーザーで登録する**
 - 1  [KUNAI for AndroidのKUNAI for Androidをインストールする](#)

 **補足** ● 端末情報に登録されている機種名は、シンク時に最新の情報に更新されます。

未登録SIMカードの使用を許可する

すでにリモートサービスマネージャーに登録されている端末で、未登録のSIMカードの使用を許可するかどうかを設定します。

- 未登録のSIMカードの使用を許可された端末は、リモートサービスマネージャーで利用端末の登録をしなくてもKUNAI for Androidの利用を開始できます。たとえば海外でSIMカードを入手し、管理者に連絡せずにKUNAI for Androidを使用する場合に便利です。

- 1 **リモートサービスマネージャーで、MDMオプションの運用管理 >  利用端末の管理の順にクリックする**
- 2 **設定を変更する端末を選択する**

端末識別番号一覧のAndroidまたはユーザー一覧から、Android端末を選択できます。
- 3  **未登録のSIMカードの使用設定をクリックする**
- 4 **未登録SIMカードの使用を許可する場合は、「未登録SIMカードの使用を許可する」にチェックを入れ、 設定する をクリックする**

未登録のSIMカードの使用を許可する期間を指定する場合は、メニューから日時を選択し、期間を設定します。

端末情報をCSVファイルで管理する

登録されている利用端末の端末情報をCSVファイルに書き出したり、CSVファイルから端末情報を読み込んだりします。

-  [端末情報をCSVファイルから読み込む](#)
-  [端末情報をCSVファイルに書き出す](#)

端末情報をCSVファイルから読み込む

CSVファイルから、リモートサービスマネージャーに端末情報を読み込む手順を説明します。

-  **注意** ● **端末情報を読み込む際の注意点**
- 端末識別番号は必須項目です。
 - 端末識別番号が現在登録されている端末識別番号と一致する場合、端末情報が更新されます。それ以外の場合は、新規に端末情報が追加されます。CSVファイルの編集時に、端末識別番号の先頭から"0"が削除されていないことを確認します。
 - 利用登録待ち端末の端末情報を削除する場合は、削除フラグに"1"を設定します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **利用端末の管理**の順にクリックする
- 2  **端末情報をCSVファイルから読み込む**をクリックする
- 3 ファイル欄の **参照** をクリックして、読み込むCSVファイルを選択し、 **次へ** をクリックする

■ 利用端末データ読み込みの設定項目

項目	説明
ファイル	読み込むCSVファイルを選択します。
文字コード	文字コードを切り替える場合は、ドロップダウンリストから文字コードを選択します。
先頭行をスキップする	読み込むCSVファイルの先頭行をスキップする場合は、「はい」にチェックを入れます。

- 4 内容を確認し、 **読み込む** をクリックする

端末情報をCSVファイルに書き出す

リモートサービスマネージャーの端末情報をCSVファイルに書き出す手順を説明します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **利用端末の管理**の順にクリックする
- 2  **端末情報をCSVファイルへ書き出す**をクリックする
- 3 必要な項目を設定し、 **書き出す** をクリックする

■ 利用端末データ書き出しの設定項目

項目	説明
文字コード	文字コードを切り替える場合は、ドロップダウンリストから文字コードを選択します。
先頭行に項目名を書き出す	CSVファイルの先頭行に項目名を書き出す場合は、「はい」にチェックを入れます。

- 4 **ファイルを保存する**
表示される画面にしたがって、ファイルを保存します。

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用しない場合

利用製品を管理する

KUNAIで利用するサイボウズ製品を、リモートサービスマネージャーで管理します。
必要な設定は、「リモートサービスの運用管理」で行います。

- ▼ [利用製品を追加する](#)
- ▼ [利用製品を更新する](#)
- ▼ [利用製品を削除する](#)

利用製品を追加する

利用ユーザーや利用端末を登録する前に、利用製品を追加します。

1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)
の順にクリックする

2  [利用製品を追加する](#) をクリックする

▶ [製品のアクセスURLの注意点について](#)

3 [追加された内容を確認する](#)

引き続き、次の設定をします。

- 利用ユーザーを追加する： [利用ユーザーの設定へ](#) をクリックし、製品を利用するユーザーを追加します。
▶ [利用ユーザーを追加する](#)の手順3に進みます。
- 利用する証明書を設定する： [利用する証明書を設定する](#) をクリックします。お使いのライセンスによって、表示されません。
▶ [利用する証明書を設定する](#)



利用製品を更新する

登録されている利用製品の製品情報を更新する方法を説明します。

- 利用製品をバージョンアップした場合は、利用製品の製品情報を更新します。
- 利用ユーザーの設定は、製品情報を更新しても、変更する必要はありません。

- 1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする
- 2 更新する製品名を選択する
- 3  [製品情報を更新する](#) をクリックする
- 4 製品のアクセスURLを入力し、 をクリックする
 [製品のアクセスURLの注意点について](#)

利用製品を削除する

利用製品を削除する方法を説明します。

-  **注意** ● 利用製品を削除すると、その製品に設定されている利用ユーザーも削除されます。

- 1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする
- 2 削除する製品名を選択する
- 3  [削除する](#) をクリックする
- 4 削除する場合は、 をクリックする

-  **ヒント** ● 次の画面からも、利用製品を削除できます。
- 「製品/ユーザーの設定」画面で、削除する製品のチェックボックスにチェックを入れて、 をクリックする

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用しない場合

利用ユーザーを管理する

端末から製品に接続できるユーザーを、リモートサービスマネージャーで管理します。
必要な設定は、「リモートサービスの運用管理」で行います。



- 利用ユーザーを登録する前に、次の設定が完了していることを確認します。
 - 利用製品の登録



- 利用ユーザーの設定時に、製品のシステム管理者のユーザー名とパスワードを入力する画面が表示される場合があります。サイボウズ共通認証が設定されている場合でも、システム管理者として製品にログインする必要があります。

- ▣ [利用ユーザーを追加する](#)
- ▣ [利用ユーザーを削除する](#)

利用ユーザーを追加する

利用ユーザーを追加する方法を説明します。

- 利用製品を追加したあとに、引き続きユーザーを追加する場合は、手順3から操作します。

1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) > [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする

2 ユーザーを追加する製品の [利用ユーザーの設定](#) をクリックする

3 システム管理者として製品にログインする

製品にログインする必要がない場合は、この手順は省略されます。手順4に進みます。
ログイン方法は、製品での設定により異なります。

4 [利用ユーザーを追加する](#) をクリックする

すでに利用ユーザーが登録されている場合は、利用ユーザーに登録されている人数や利用ユーザー名を確認できます。

▣ [「利用ユーザーの設定」画面の見かた](#)

5 追加するユーザーを選択し、[追加する](#) をクリックする

左のリストからグループを選択したあと、追加するユーザーを選択して、[↓候補](#) をクリックし、[追加する](#) をクリックします。

所属ユーザー一覧の右上に検索欄が表示されている場合は、キーワードを入力し、候補のユーザーを検索できます。

候補に追加したユーザーを削除する場合、候補の中から削除するユーザーを選択して、[↑削除](#) をクリックします。

6 追加された内容を確認する

引き続き、[利用ユーザーにアクセス情報を連絡する](#) をクリックし、製品を利用するユーザーにアクセス情報を連絡します。

▣ [アクセス情報をユーザーに連絡する](#)

利用ユーザーを追加する場合は、[さらに利用ユーザーを追加する](#) をクリックし、手順5からの操作を繰り返す

6 ます。

利用ユーザーを削除する

利用ユーザーを削除する方法を説明します。



注意

- 製品側でユーザーを削除してもリモートサービスマネージャーには反映されません。製品側でユーザーを削除した場合は、リモートサービスマネージャー側でもユーザーを削除します。

1 「利用ユーザーの設定」画面を表示する

▶ [利用ユーザーを追加する](#)の手順1~3

2 削除するユーザーにチェックを入れ、**利用ユーザーから削除する** をクリックする

ユーザーを検索する場合は、画面右上の検索欄にキーワードを入力し、候補のユーザーを検索します。

3 利用ユーザーから外す場合は、**解除する** をクリックする

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用しない場合

クライアント証明書を管理する

KUNAI for Androidの初期設定では、クライアント証明書の情報を含むKUNAI用のアクセス情報を設定します。KUNAI用のアクセス情報は、クライアント証明書によって異なります。

必要な設定は、「リモートサービスの運用管理」で行います。

リモートサービスのセキュアアクセスオプションが有効な場合、リモートサービスマネージャーでは次の証明書を管理します。

- マスターのクライアント証明書
- ユーザー発行クライアント証明書

パソコンからのアクセス：[クライアント証明書を管理する](#)



注意

- KUNAIはサードパーティ製品には対応していません。KUNAIで証明書を使用する場合は、アクセスを許可する製品に、KUNAIで使用するサイボウズ製品を設定する必要があります。
- クライアント証明書の管理機能は、リモートサービスのセキュアアクセスオプションが有効な場合に使用できます。

- ▣ [証明書を発行する](#)
- ▣ [証明書を変更する](#)
- ▣ [証明書のステータスを変更する](#)
- ▣ [利用する証明書を設定する](#)
- ▣ [証明書を削除する](#)

証明書を発行する

ユーザー発行クライアント証明書を発行する方法を説明します。

1 リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) > [クライアント証明書の管理](#)の順にクリックする

2 ユーザー発行クライアント証明書の欄で、 [発行する](#)をクリックする

3 必要な項目を設定し、[発行する](#)をクリックする

設定する項目は、次のとおりです。

- 証明書名
- フレンドリー名
 - ▣ [フレンドリー名とは](#)
- 利用期限
- アクセスを許可する製品
- 備考



補足

- **フレンドリー名とは**
ユーザー発行クライアント証明書を区別するための文字列です。リモートサービスにアクセスすると、利用している証明書のフレンドリー名がWebブラウザに表示されます。Webブラウザの種類によ

- ては、フレンドリー名が表示されません。
- フレンドリー名の制限事項
設定したフレンドリー名は変更できません。使用できる文字は、次のとおりです。
 - 半角スペースと「a-z、A-Z、0-9、'、+、-、:、,、.、?、()」

証明書を変更する

ユーザー発行クライアント証明書を変更する方法を説明します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **クライアント証明書の管理**の順にクリックする
- 2 変更する証明書を選択する
- 3  **変更する**をクリックする
- 4 必要な項目を設定し、**変更する** をクリックする
設定する項目は、次のとおりです。
 - 証明書名
 - 利用期限
 - アクセスを許可する製品
 - 備考

証明書のステータスを変更する

マスターのクライアント証明書とユーザー発行クライアント証明書のステータスを変更する方法を説明します。
証明書を無効にすると、その証明書を使用するユーザーは利用製品にアクセスできません。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **クライアント証明書の管理**の順にクリックする
- 2 変更する証明書を選択する
- 3  **有効にする**をクリックする
証明書を無効にする場合は、 **無効にする** をクリックします。
- 4 証明書を有効にする場合は、**有効にする** をクリックする
証明書を無効にする場合は、**無効にする** をクリックします。

利用する証明書を設定する

各製品で利用する証明書を設定する方法を説明します。

- 利用製品を追加したあとに、利用する証明書を設定する場合は、手順3から操作します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **製品/ユーザーの設定**の順にクリックする
- 2 利用する証明書を設定する製品を選択する
- 3  **利用する証明書を設定する**をクリックする
- 4 証明書一覧から、利用する証明書を選択し、**←追加** > **設定する**の順にクリックする
選択を解除する場合、証明書を選擇して、**→削除**をクリックします。

証明書を削除する

ユーザー発行クライアント証明書を削除する方法を説明します。

- +補足**
- マスターのクライアント証明書は削除できません。
 - 削除したユーザー発行クライアント証明書は、元に戻せません。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**リモートサービスの運用管理** >  **クライアント証明書の管理**の順にクリックする
- 2 削除する証明書を選択する
- 3  **削除する**をクリックする
- 4 削除する証明書を確認し、**削除する**をクリックする

- ヒント**
- 次の画面からも、ユーザー発行クライアント証明書を削除できます。
 - 「クライアント証明書の管理」画面で、削除する証明書のチェックボックスにチェックを入れて、**削除する**をクリックする

MDMオプション(Mobile Device Managerオプション)を使用しない場合

アクセス情報をユーザーに連絡する

利用ユーザーに、利用製品のアクセス情報を連絡します。

- 次の情報を利用ユーザーに連絡します。
 - KUNAI用のアクセス情報



注意

- クライアント証明書を配布する前に、次の設定が完了していることを確認します。
 - 利用製品の登録
 - 利用ユーザーの登録
 - 利用する証明書の設定： リモートサービスのセキュアアクセスオプションが有効な場合に設定します。
 - KUNAIの使用許可
 - [KUNAIの使用を制限する](#)



注意

- **KUNAI用のアクセス情報とは**
クライアント証明書の情報が含まれているKUNAI用のURLパスです。KUNAIでは証明書をインポートせずに、このアクセス情報から証明書の情報を取り込みます。

- 1** リモートサービスマネージャーで、[リモートサービスの運用管理](#) >  [製品/ユーザーの設定](#)の順にクリックする
- 2** 該当する製品名を選択する
- 3** 利用する証明書の [\[証明書の利用方法\]](#) をクリックする
お使いのライセンスによっては、複数の証明書が表示されます。
- 4** KUNAI用のアクセス情報を確認する
「アクセス情報」タブで確認します。
- 5** ユーザーに連絡する
E-mailなどを使用し、必要な情報をユーザーに連絡します。



ヒント

- 「KUNAIの利用手順の案内」画面の内容を、ユーザーに連絡すると便利です。「KUNAIの利用手順の案内」画面は、「製品/ユーザーの設定」画面で、 [KUNAIの利用手順の案内](#) をクリックすると表示されます。

ライセンスの管理

ライセンスを管理する

リモートサービスを利用するために必要なライセンスやオプションの管理について説明します。

- 試用期間が終了したら、製品の使用ライセンスを登録します。
- 初期設定時に選択しなかったサービスも試用を開始できます。

▶ [サービスの試用を開始する](#)



注意

- ライセンスが終了すると、次の操作はできません。
 - リモートサービスを経由した利用製品へのアクセス
 - 端末とのデータシンク
 - セキュリティポリシーの変更や端末の初期化などの端末管理
 - クライアント証明書の管理：セキュアアクセスオプションが有効な場合のみ
 - クライアント証明書の管理機能を使用している場合の注意
マスターのクライアント証明書((リモートID).pfx)を変更し、リモートIDが変更されると、ユーザー発行クライアント証明書が使用できなくなります。
マスターのクライアント証明書を登録し直して、リモートIDが元に戻れば、ユーザー発行クライアント証明書が使用できるようになります。



補足

- **クライアント証明書とは**
クライアント証明書とは、リモートサービスを利用するときに、ユーザーを識別する証明書(SSL証明書)のことです。
クライアント証明書は、Webブラウザにインストールされるので、アクセスのたびにユーザー名とパスワードを入力する認証よりも、簡単にユーザーを認証できます。
リモートサービスのセキュアアクセスオプションが無効な場合、リモートサービスマネージャーとユーザーで、同じクライアント証明書((リモートID).pfx)を使用します。
- **リモートIDとは**
リモートIDとは、クライアント証明書に含まれる番号で、利用しているクライアント証明書を指定する番号です。
「R」のあとに 7桁の数字が付きます。
- **クライアント証明書のファイル名**
システム管理者が提供するクライアント証明書の種類によって、次のどちらかのファイル名が表示されます。
 - (リモートID).pfx
 - (文字列).pfx
- ライセンスの終了期間が近づくと、リモートサービスマネージャーの画面上部にメッセージが表示されます。
 - ライセンスを購入している場合は、使用終了日の60日前になると、メッセージが表示されます。
 - 試用期間中は、試用期間の終了日が表示されます。
 - 製品購入、使用ライセンスについては、[価格・見積・申込](#) をご覧ください。

▶ [ライセンスを更新する](#)

ライセンスを更新する

クライアント証明書を再登録し、登録されているライセンスを更新します。

- 試用期間終了時に、リモートサービスの使用ライセンスを登録したり、使用しているライセンスが変更になった場合に、新しいライセンスに更新したりします。

1 リモートサービスマネージャーで、 **システム設定** >  **ライセンスの管理**の順にクリックする

2  **クライアント証明書を登録する**をクリックする

「ライセンスの管理」画面には、現在登録されているライセンスの情報が表示されます。

3 **参照** をクリックして、**クライアント証明書ファイル(zipファイル)**を選択し、**登録する** をクリックする

zipファイル以外の形式のファイルは登録できません。

クライアント証明書のファイル形式がzipファイル以外の場合は、[リモート ID 新規お申し込み](#)から、zip形式のクライアント証明書をダウンロードします。

「証明書の登録完了」画面が表示されれば、クライアント証明書の登録は終了です。



● 次の場合は、リモートサービスマネージャーを再起動する必要があります。

- 「ライセンスの管理」画面に、ライセンスの内容が表示されていない場合
- 「証明書の登録完了」画面に、「ライセンス情報の取得に失敗したため、サービスを開始できません。ネットワーク環境を確認し、サービスを再起動してください。」というメッセージが表示された場合

 [リモートサービスマネージャーを再起動する](#)

クライアント証明書を差し替えるときの流れ

クライアント証明書を差し替えるときは、次の手順で操作します。



● リモートIDの変更があり、クライアント証明書((リモートID).pfx)を差し替えると、ケータイのアクセスURLも変更されます。

新しいケータイのアクセスURLを確認し、利用ユーザーに連絡します。

 [ケータイのアクセス情報をユーザーに連絡する](#)

ステップ1

クライアント証明書を登録する

新しいクライアント証明書をリモートサービスマネージャーに登録します。

 [ライセンスを更新する](#)

ステップ2

ユーザーに新しいクライアント証明書とパスワードを配布する

リモートサービスを利用しているユーザーに、新しいクライアント証明書とパスワードを配布します。

必要に応じて携帯電話用のアクセスURLをユーザーに連絡します。

 [アクセス情報をユーザーに連絡する\(パソコン\)](#)

 [アクセス情報をユーザーに連絡する\(携帯電話\)](#)

- [☐ アクセス情報をユーザーに連絡する\(KUNAI for BlackBerry\(R\)\)](#)
- [☐ アクセス情報をユーザーに連絡する\(KUNAI for iPhone\)](#)
- [☐ アクセス情報をユーザーに連絡する\(KUNAI for Android\)](#)

ステップ3

ユーザーにクライアント証明書の差し替えを依頼する

リモートサービスを利用しているユーザーに、新しいクライアント証明書への差し替えを依頼します。

- [☐ クライアント証明書を差し替える](#)

+補足

- ケータイ用のログインURLを設定している場合は、設定しているログインURLを変更します。設定方法は各製品のマニュアルを参照してください。

- [▶ 利用製品側の設定](#)

ライセンスの管理

サービスの試用を開始する

バージョン 2.3.0以前のリモートサービスマネージャーでは、初期設定時に選択していないサービスを試用開始できません。



- リモートサービスのライセンスやオプションの詳細は、次のWebサイトを参照してください。

[製品サイト](#)：[価格](#)・[見積](#)・[発注](#)

- 試用期間に、サードパーティ製品を利用製品として登録する場合
試用期間に、サードパーティ製品を利用製品として登録するには、お使いの環境に合わせて、次の操作が必要です。
 - バージョン 2.3.0以前から最新のリモートサービスマネージャーにバージョンアップしている場合：
「ライセンスの管理」画面で[未使用のサービスを試用する]をクリックすると、試用できます。すでにライセンスを購入している場合、この操作は不要です。
 - 新規でバージョン 3.0.0以降のリモートサービスマネージャーをインストールしている場合：
弊社[Webサイト](#)から申し込みが必要です。

1 リモートサービスマネージャーで、 [システム設定](#) > [ライセンスの管理](#)の順にクリックする

2 [未使用のサービスを試用するをクリックする](#)

3 [試用するサービスを選択する](#)

4 サービスの試用規約を確認し、同意する場合は「サービス試用規約に同意する」にチェックを入れ、[試用ライセンスを発行する](#) をクリックする

「試用ライセンスの発行完了」画面が表示されれば、試用ライセンスは発行されています。



- 次の場合は、リモートサービスマネージャーを再起動する必要があります。

- 「試用ライセンスの発行完了」画面で「ライセンス情報の取得に失敗したため、サービスを開始できません。ネットワーク環境を確認し、サービスを再起動してください。」というメッセージが表示された場合

[リモートサービスマネージャーを再起動する](#)

システム全般の設定

KUNAIの使用を制限する

MDMオプションが有効な場合、KUNAIの使用を制限できます。

- 試用期間中またはMDMオプションが有効な場合：
リモートサービスマネージャーで管理している端末だけに、KUNAIの使用を許可します。
ライセンスの有効期限が過ぎると、KUNAIの使用の制限が解除されます。
- MDMオプションが無効な場合：
KUNAIの使用を制限できません。

初期設定では、KUNAIの使用はすべて許可されています。

KUNAIの使用を制限すると、MDMオプションを使用しないKUNAI用のアクセス情報は表示されません。

リモートサービス以外のVPN環境を経由するKUNAIのアクセス(直接接続)は、この設定で制限できません。

- 1 リモートサービスマネージャーで、**MDMオプションの運用管理** >  **製品/ユーザーの設定** の順にクリックする
- 2 「製品/ユーザーの設定」画面で、 **KUNAIの使用を制限する** をクリックする
- 3 「KUNAIの使用の制限」画面で、 **制限する** をクリックする

KUNAIの使用を許可する場合は、「製品/ユーザーの設定」画面で  **KUNAIの使用を許可する** をクリックします。

システム全般の設定

システム管理用のパスワードを設定する

リモートサービスマネージャーにログインするために必要なパスワードを設定する方法を説明します。

- パスワードは定期的に変更することをお勧めします。

1 リモートサービスマネージャーで、 **システム設定** >  **システム管理用パスワード** の順に
クリックする

2 システム管理用のパスワードを入力し、**設定する** をクリックする
確認用とあわせて、2回パスワードを入力します。

システム全般の設定

Webプロキシを設定する

インターネットアクセス時にプロキシサーバーを使用している場合、プロキシサーバーの設定が必要です。



注意

- Webプロキシの設定を変更したあとは、必ずリモートサービスマネージャーを再起動してください。再起動させると、リモートサービスマネージャーが正常に動作します。



補足

• プロキシサーバーとは

プロキシサーバーとは、直接インターネットに接続できない企業などにある社内のクライアントパソコンに代わり、インターネットに接続するコンピューターのことです。

インターネット接続を一元管理し、内部からの特定の接続のみを許可したり、外部からの不正なアクセスを遮断したりするために使用されます。

- 1 リモートサービスマネージャーで、 **システム設定** > **Webプロキシの設定** の順にクリックする
- 2 「プロキシサーバーを利用している」にチェックを入れ、サーバー名とポート番号を入力し、**設定する** をクリックする
- 3 リモートサービスマネージャーを再起動する
 [リモートサービスマネージャーを再起動する](#)

システム全般の設定

表示言語を切り替える

リモートサービスマネージャーの表示言語を切り替える方法を説明します。

- 1 リモートサービスマネージャーで、 **システム設定** >  **表示言語の設定** の順にクリックする
- 2 ドロップダウンリストから言語を選択し、**設定する** をクリックする



- 一時的に「システム管理」画面の表示言語を変更する場合は、「ログイン」画面のメニューで表示する言語を選択します。

システム全般の設定

ログから得られる情報

リモートサービスマネージャーのログファイルについて説明します。

- ログファイルは、リモートサービスマネージャーをインストールしたフォルダのlogsフォルダに保存されます。

▶ [ファイル構成](#)

- ファイルサイズが10MBを超えると、新しいログファイルが作成されます。
- ログファイルは、最大7ファイルまで作成され、以降は上書きされます。
- すべてのログファイルを保管する場合は、定期的にログファイルを別フォルダにコピーする必要があります。
- ログファイルでは、次の情報を確認できます。
 - RelayClient.log : リモートサービスマネージャーのトレースログ
 - access.log : リモートサービスマネージャーや各製品へのアクセスログ
 - velocity.log : リモートサービスのサポートで使用する補助用のログ
 - (リモートサービスのサービス名)_InstallLog.log (Windows版) またはリモートサービス_InstallLog.log (Linux版) : リモートサービスマネージャーのインストールログ
※ インストールログは、インストールフォルダに作成されます。
 - call_history.log : 利用端末の発着と着信のログ
※ Windows phoneでのみ作成されます。
 - device.log : 端末制御（初期化処理やセキュリティポリシーの変更）のログと、KUNAIのエラーログの一部
 - Error.log : リモートサービスマネージャーのエラーログ



- ログファイルの文字コードは、UTF-8です。
- device.logに表示されるログの仕様については、[ログ一覧](#)を参照してください。

システム全般の設定

リモートサービスマネージャーを再起動、停止する

リモートサービスマネージャーを再起動したり、停止したりする手順を説明します。

- リモートサービスマネージャーをインストールしたサーバーで、リモートサービスマネージャーの再起動や停止をします。



注意

- 継続ライセンスを購入し、ライセンスを更新した場合は、ライセンス情報を更新するためにリモートサービスマネージャーを再起動します。
- リモートサービスマネージャーをバージョンアップする場合は、リモートサービスマネージャーを停止します。
- Windows環境ではAdministrator権限、Linux環境ではroot権限のあるユーザーで、リモートサービスマネージャーの再起動や停止をします。



補足

- 次の現象が起きた場合、リモートサービスマネージャーを再起動します。
 - クライアント証明書を登録してもライセンスの内容が表示されない
 - クライアント証明書の登録時に、ネットワークやプロキシの設定が原因でリモートサービスが開始できない

[リモートサービスマネージャーを再起動する](#)

[リモートサービスマネージャーを停止する](#)

リモートサービスマネージャーを再起動する

[Windows環境の場合](#)

[Linux環境の場合](#)

Windows環境の場合

お使いのOSによっては、メニュー名が異なります。

- 1 Windowsのスタートメニューから「設定」 > 「コントロールパネル」の順に選択する
- 2 「管理ツール」の「サービス」を選択する
- 3 「CybozuRemoteService2 (インストール識別子)」を選択し、「サービスの再起動」をクリックする

Linux環境の場合

- 1 次のコマンドを入力する

```
# /etc/init.d/cbrs_ (インストール識別子) stop
# /etc/init.d/cbrs_ (インストール識別子) start
```

リモートサービスマネージャーを停止する

- ▣ [Windows環境の場合](#)
- ▣ [Linux環境の場合](#)

Windows環境の場合

お使いのOSによっては、メニュー名が異なります。

- 1 Windowsのスタートメニューから「設定」 > 「コントロールパネル」の順に選択する
- 2 「管理ツール」の「サービス」を選択する
- 3 「CybozuRemoteService2 (インストール識別子)」を選択し、「サービスの停止」をクリックする

Linux環境の場合

- 1 次のコマンドを入力する

```
# /etc/init.d/cbrs_ (インストール識別子) stop
```